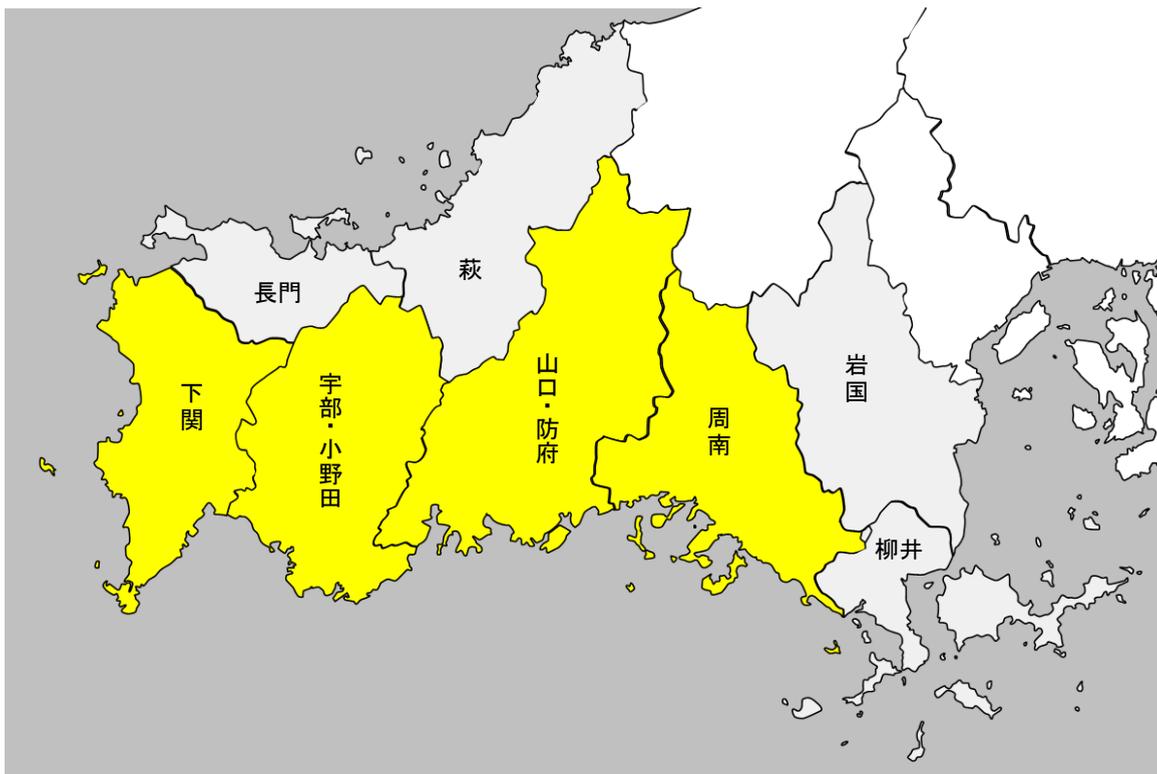


35. 山口県

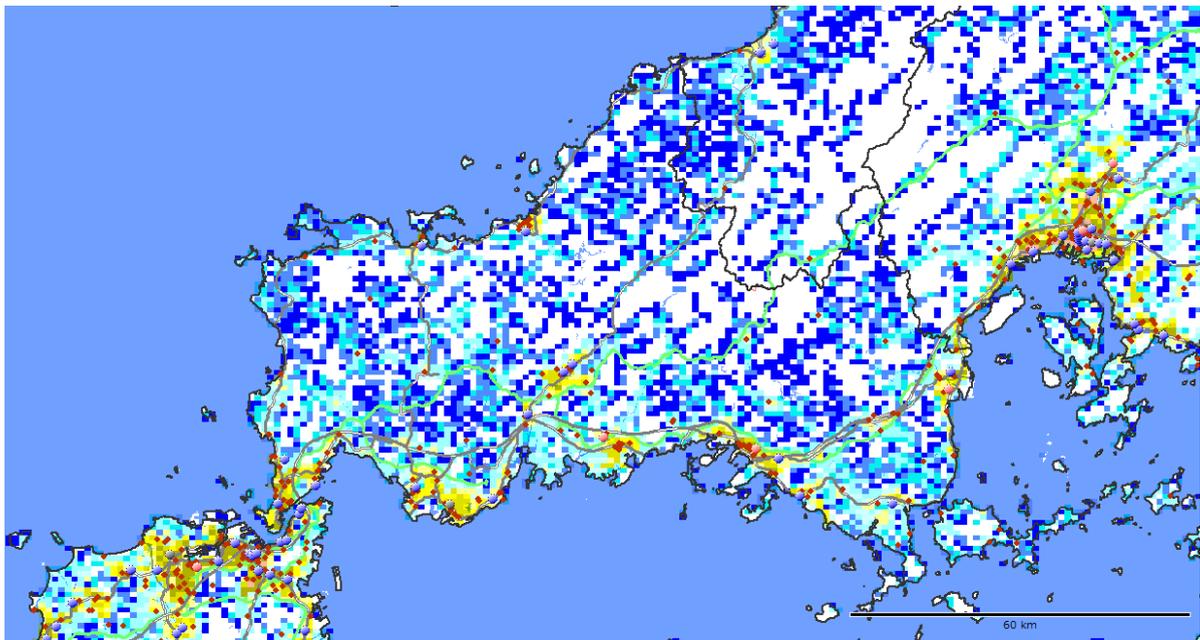


目次

山口県	35	-	3
資料編 一 当県ならびに二次医療圏別資料	35	-	8
1. 岩国医療圏	35	-	26
2. 柳井医療圏	35	-	31
3. 周南医療圏	35	-	36
4. 山口・防府医療圏	35	-	41
5. 宇部・小野田医療圏	35	-	46
6. 下関医療圏	35	-	51
7. 長門医療圏	35	-	56
8. 萩医療圏	35	-	61

35. 山口県

人口分布¹ (1km²区画単位)



区画内人口(1平方キ口)



DPC病院



(山口県) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

【地域の概要】

*人口、面積など： 山口県は、総人口約1405千人(2015年)、面積6112km²、人口密度は230人/km²である。

*人口の将来予測： 山口県の総人口は2025年に1275千人へと減少し(2015年比-9%)、2040年に1070千人へと減少する(2025年比-16%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の226千人が、2025年にかけて278千人へと増加し(2015年比+23%)、2040年には250千人へと減少する(2025年比-10%)ことが予想される。

*医療費と介護給付費： 山口県の一人当たり医療費(国保)は428千円(偏差値69)、介護給付費は253千円(偏差値50)であり、医療費は非常に高く、介護給付費は全国平均レベルである。

【医療の現状】

*入院医療の充実度： 山口県の一人当たり急性期医療密度指数²は1.13、一人当たり慢性期医療密度指数²は2.51で、急性期の医療は全国平均レベルであるが、慢性期の医療はかなり余裕がある。

*医師・看護師の現状： 総医師数³の偏差値が50(病院医師数50、診療所医師数51)と、総医師数、病院医師数、診療所医師数ともにほぼ全国平均レベルである。総看護師数の偏差値は62と多い。

*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は54で、一般病床数はやや多い。全身麻酔数の偏差値は53とやや多い。

*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は70と療養病床数は非常に多い。

*リハビリの現状： 総療法士数は偏差値58と多く、回復期病床数は偏差値52と全国平均レベルである。

*精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は57で精神病床数は多い。

*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は56で診療所数は多い。

【介護施設や在宅ケアの現状】

*介護施設の現状： 山口県の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、22073人(75歳以上1000人当たりの偏差値46)と全国平均レベルをやや下回る。そのうち、介護保険施設の定員が14177床(偏差値51)、高齢者住宅等が7896床(偏差値45)である。介護保険施設は全国平均レベルであるが、高齢者住宅等は全国平均レベルをやや下回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、17017人(75歳以上1000人当たりの偏差値49)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルである。

施設別の75歳以上1000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設48、特別養護老人ホーム48、介護療養型医療施設62、有料老人ホーム42、軽費ホーム57、グループホーム48、サ高住51である。

*在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値44と少なく、在宅療養支援病院は偏差値49と全国平均レベルである。また、訪問看護ステーションは偏差値48と全国平均レベルである。介護職員(在宅)の合計は、2412人(75歳以上1000人当たりの偏差値44)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを下回る。

*介護の2025年の需要予測： 2025年の介護充足度指数⁴は-21%であり、2025年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、高齢者施設・住宅の増設、あるいは相当する在宅のインフラ整備が必要である。

2. 推移と将来推計

【人口と医療需要】

山口県の総人口は、2005年1492606人が、2015年に1404729人と6%減少し、2025年の人口が1275187人と予測され、2005年→2025年の間に15%程度の減少が予測されている。

医療の需要(医療費ベース)は、2005年から2015年に6%増加し、2015年から2025年にかけて1%程度の減少が予測される。

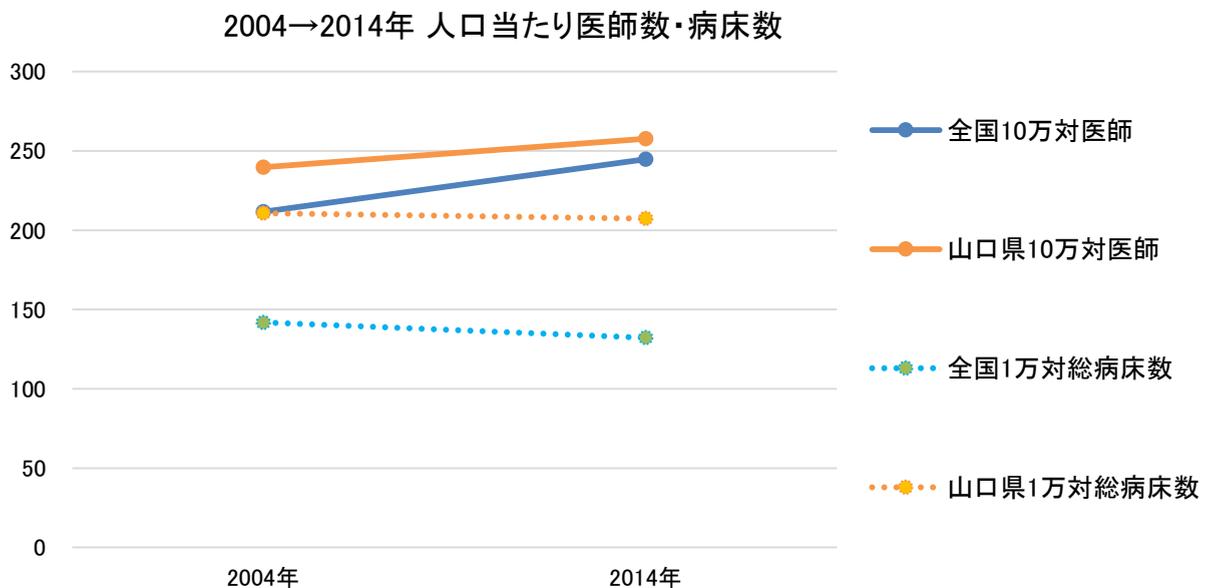
【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

2004年の病院数が151(人口10万人当たり10.1病院(全国平均7.1)偏差値58)であったが、2014年に147(人口10万人当たり10.5病院(全国平均6.7)偏差値59)となり、10年間で4病院が減少した。

2004年の診療所数が1326(人口10万人当たり89診療所(全国平均76)偏差値56)であったが、2014年に1274(人口10万人当たり91診療所(全国平均79)偏差値56)と、52診療所が減少した。

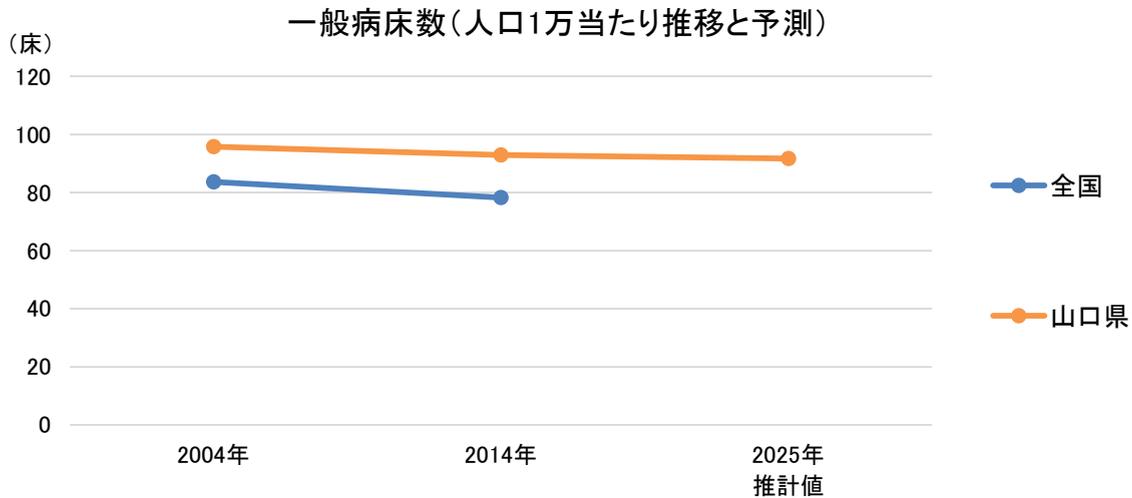
2004年の総病床数が31462床(人口1万人当たり211(全国平均142)偏差値62)であったが、2014年に29132床(人口1万人当たり207(全国平均132)偏差値63)と、2330床の減少、率にして7%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。

2004年には病院と診療所合わせての総医師数³が3578人(人口10万人当たり240人(全国平均212人)偏差値53)であったが、2014年に3619人(人口10万人当たり258人(全国平均245人)偏差値51)と、41人の増加、率にして1%の増加(全国平均15%の増加)が見られた。



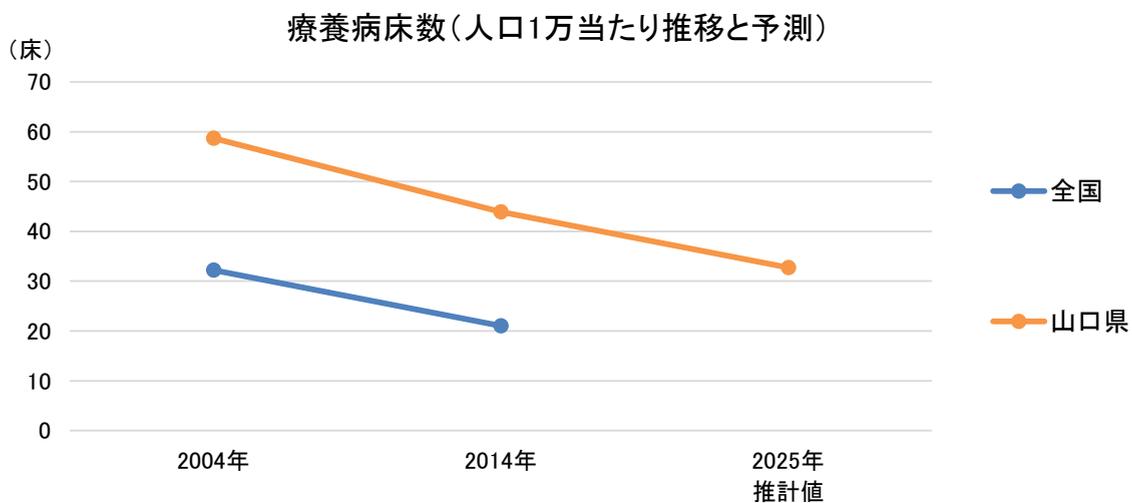
【一般病床の推移と今後の予測】

2004年の一般病床(病院+診療所)が14289床(人口1万人当たり96(全国平均84)偏差値54)であったが、2014年に13051床(人口1万人当たり93(全国平均78)偏差値55)と、1238床の減少、率にして9%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には11689床(2025年の推計人口1万人当たり92)になることが予想される。



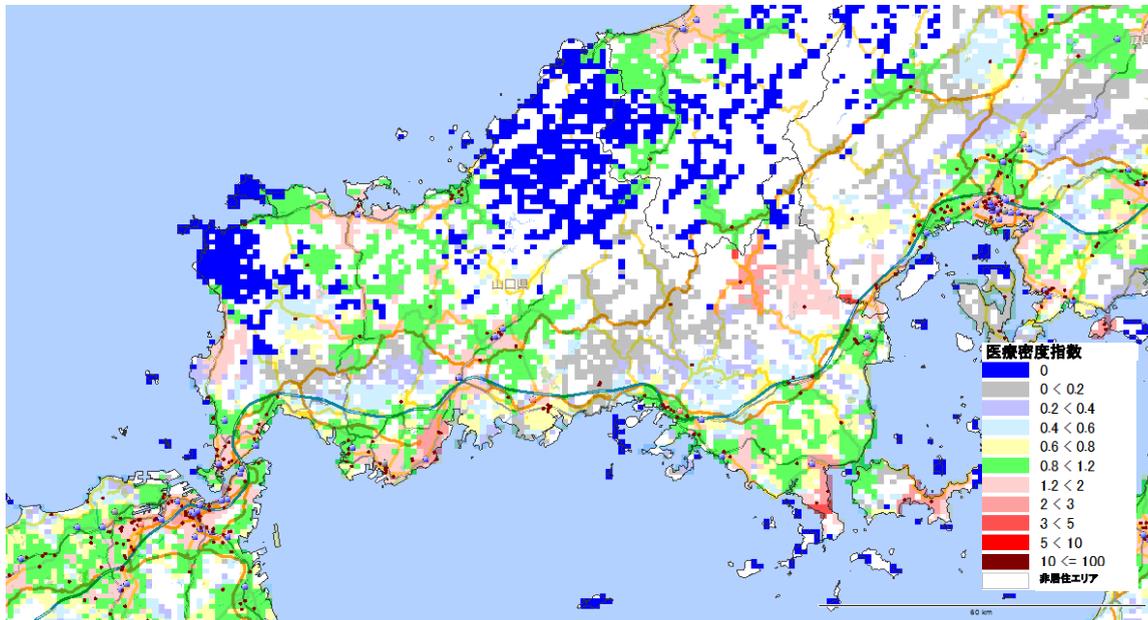
【療養病床の推移と今後の予測】

2004年の療養病床(病院+診療所)が10669床(75歳以上1000人当たり59(全国平均32)偏差値65)であったが、2014年に9922床(75歳以上1000人当たり44(全国平均21)偏差値69)と、747床の減少、率にして7%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には9102床(2025年の推計75歳以上1000人当たり33)になることが予想される。



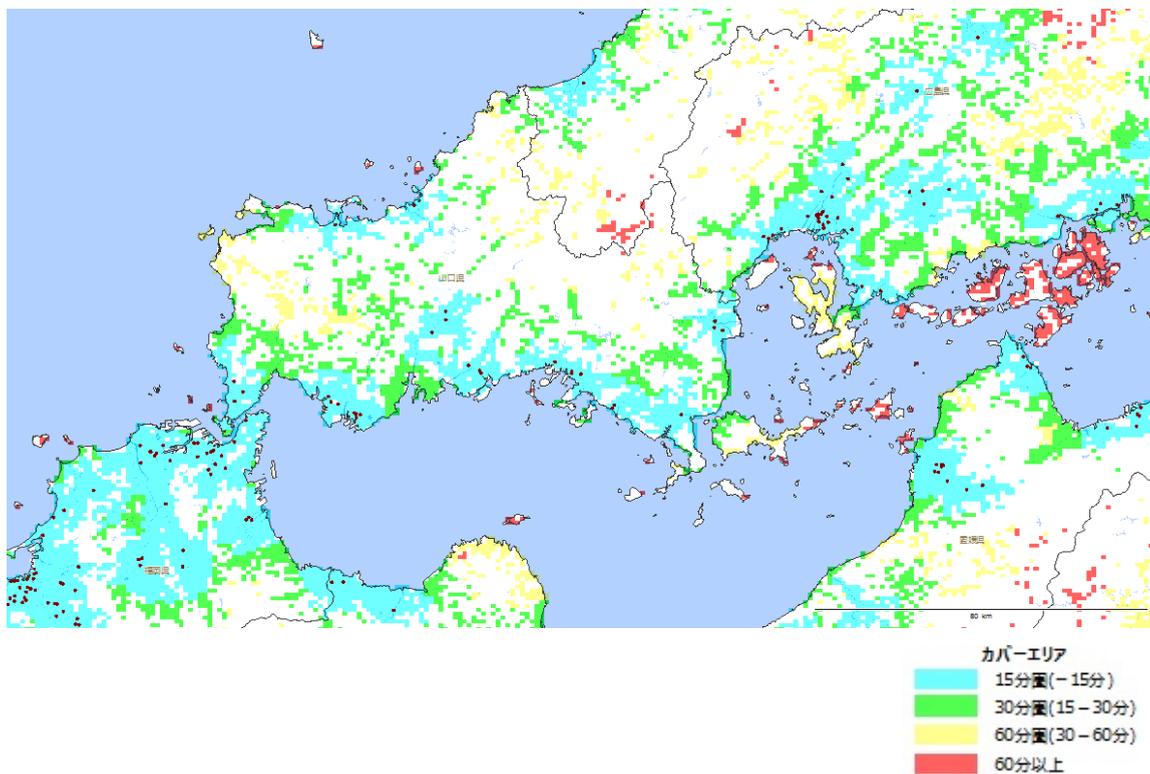
(山口県) 3. 医療密度⁵・周産期カバーエリア

図表35-1 急性期医療密度指数マップ



図表35-2 分娩医療機関への所用運転時間(カバーエリア)

※各メッシュから分娩医療機関への所用運転時間の推計値を掲載した。(集計方法は補論参照のこと)



資料編 ー 当県ならびに二次医療圏別資料⁶

※2017年版では、人口に関わる指標（偏差値等）については、2015年人口に基づいた計算を行っている。

資_図表 35-1 地理情報・人口動態

二次医療圏	人口 (単位: 千人)	県内 シェア	面積	県内 シェア	人口 密度	地域タイプ	高齢 化率	2025年 総人口 (単位: 千人)	2040年 総人口 (単位: 千人)	2015年 75歳以上 人口 (単位: 千人)	2025年 75歳以上 人口 (単位: 千人)	2040年 75歳以上 人口 (単位: 千人)	2015→ 25年 総人口 増減率	2025→ 40年 総人口 増減率	2015→ 25年 75歳以上 人口 増減率	2025→ 40年 75歳以上 人口 増減率
全国	127,095		372,950		340.8		26%	120,700	107,439	16,126	21,775	22,232	-5%	-11%	35%	2%
山口県	1,405	27位	6,112	23位	229.8		32%	1,275	1,070	226	278	250	-9%	-16%	23%	-10%
岩国	143	10%	884	14%	161.8	過疎地域型	33%	129	106	25	29	26	-10%	-18%	16%	-10%
柳井	81	6%	398	7%	203.8	地方都市型	40%	70	55	18	20	16	-14%	-21%	11%	-20%
周南	252	18%	838	14%	300.8	地方都市型	31%	234	202	36	49	43	-7%	-14%	36%	-12%
山口・防府	313	22%	1,213	20%	258.4	地方都市型	28%	292	260	43	56	55	-7%	-11%	30%	-2%
宇部・小野田	258	18%	892	15%	289.4	地方都市型	31%	234	195	40	50	46	-9%	-17%	25%	-8%
下関	269	19%	716	12%	375.1	地方都市型	33%	242	197	45	54	48	-10%	-19%	20%	-11%
長門	35	2%	357	6%	99.2	過疎地域型	40%	30	22	8	8	7	-14%	-27%	0%	-13%
萩	53	4%	814	13%	65.1	過疎地域型	40%	44	32	12	13	10	-17%	-27%	8%	-23%
出典	<人口(2015年)>平成27年国勢調査 人口等基本集計 平成27年10月 <人口(2025年、2040年)>日本の地域別将来推計人口 国立社会保障・人口問題研究所 平成25年3月 <面積>平成27年国勢調査 人口等基本集計 平成27年10月1日															

資_図表 35-2 一人当たり医療密度指数、介護充足度指数

二次医療圏	一人当たり 急性期医療 密度指数	一人当たり 慢性期医療 密度指数	75歳以上介護充足度		
			2016年 ベッド数	2025年目標 ベッド数	2025年充足度 指数 (%)
全国	1.00	1.00	1,456,851	1,772,098	-21.6%
山口県	1.13	2.51	18,731	22,631	-20.8%
岩国	1.19	5.84	2,320	2,364	-1.9%
柳井	1.15	1.46	1,800	1,590	11.7%
周南	0.87	2.35	2,865	3,961	-38.2%
山口・防府	1.24	2.47	3,517	4,518	-28.5%
宇部・小野田	1.26	3.08	3,432	4,087	-19.1%
下関	1.22	2.94	3,294	4,423	-34.3%
長門	0.93	3.30	633	668	-5.5%
萩	0.58	2.39	870	1,021	-17.3%
出典	<一人当たり急性期医療密度指数><一人当たり慢性期医療密度指数>その地域の住民が、どの程度の医療(急性期及び慢性期)を利用できるかの目安を示す指標。1.0が全国平均。0.8を下回ると少ない、0.6を下回ると非常に少ない、1.2以上充実、1.5以上非常に充実。 <75歳以上介護充足度指数>高齢者住宅・施設の各地域の受入れ充足度を示す指標。2025年の75歳以上推定人口から算出した高齢者住宅・施設の目標ベッド数が2016年ベッド数と比べて何%多いか少ないかを示す。集計対象は、介護三施設、軽費老人ホーム、グループホーム、有料老人ホーム、サービス付き高齢者賃貸住宅等である。				

資_図表 35-3 医療費、介護給付費⁷

二次医療圏	一人あたり 医療費 (国保のみ) (単位:千円)	偏差値 *全国は 標準偏差	地域差 指数	入院費 (単位:千円)	偏差値 *全国は 標準偏差	地域差 指数	入院外+ 調剤 (単位:千円)	偏差値 *全国は 標準偏差	地域差 指数	被保険者 一人あたり 介護給付費 (単位:千円)	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	343	(44)	1.000	131	(30)	1.000	188	(19)	1.000	253	(35)
山口県	428	69	1.145	183	67	1.298	219	67	1.062	253	50
岩国	420	67	1.115	166	62	1.159	227	71	1.095	261	52
柳井	450	74	1.157	203	74	1.373	222	68	1.037	266	54
周南	398	62	1.039	162	61	1.116	210	62	0.998	228	43
山口・防府	418	67	1.117	180	67	1.265	213	63	1.033	256	51
宇部・小野田	446	73	1.176	188	69	1.304	232	73	1.112	266	54
下関	444	73	1.181	200	73	1.402	218	66	1.055	252	50
長門	447	73	1.139	195	72	1.300	228	72	1.060	233	44
萩	417	67	1.086	178	66	1.215	213	63	1.008	268	54
出典	<一人あたり医療費>平成27年度医療費の地域差分析 厚生労働省 <一人あたり介護給付費>平成27年度介護保険事業状況報告(年報) 平成27年度累計(平成27年3月サービス分から平成28年2月サービス分まで)										

※後期高齢者の医療費については、資_図表35-35を参照。

資_図表 35-4 病院数、診療所数

二次医療圏	病院数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	診療所数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	8,480		6.7	(4.1)	100,995		79	(18.8)
山口県	147	1.7%	10.5	59	1,271	1.3%	90	56
岩国	17	12%	11.9	63	128	10%	89	55
柳井	9	6%	11.1	61	72	6%	89	55
周南	24	16%	9.5	57	215	17%	85	53
山口・防府	27	18%	8.6	55	253	20%	81	51
宇部・小野田	30	20%	11.6	62	245	19%	95	58
下関	27	18%	10.1	58	278	22%	104	63
長門	6	4%	16.9	75	27	2%	76	48
萩	7	5%	13.2	66	53	4%	100	61
出典	平成27年医療施設調査 厚生労働省 平成27年10月				平成27年医療施設調査 厚生労働省 平成27年10月			

資_図表 35-5 診療所数(全体、無床、有床)

二次医療圏	診療所数(再掲)				無床診療所数				有床診療所数			
	診療所数 (再掲)	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	無床 診療所数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	有床 診療所数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	100,995		79	(18.8)	93,034		73	(18.4)	7,961		6.3	(6.4)
山口県	1,271	1.3%	90	56	1,138	1.2%	81	54	133	1.7%	9.5	55
岩国	128	10%	89	55	116	10%	81	54	12	9%	8.4	53
柳井	72	6%	89	55	64	6%	79	53	8	6%	9.9	56
周南	215	17%	85	53	196	17%	78	52	19	14%	7.5	52
山口・防府	253	20%	81	51	226	20%	72	49	27	20%	8.6	54
宇部・小野田	245	19%	95	58	230	20%	89	59	15	11%	5.8	49
下関	278	22%	104	63	235	21%	88	58	43	32%	16.0	65
長門	27	2%	76	48	23	2%	65	45	4	3%	11.3	58
萩	53	4%	100	61	48	4%	91	59	5	4%	9.4	55
出典	平成27年医療施設調査 厚生労働省 平成27年10月				平成27年医療施設調査 厚生労働省 平成27年10月				平成27年医療施設調査 厚生労働省 平成27年10月			

資_図表 35-6 病院総病床数、診療所病床数

二次医療圏	病院総病床数				診療所病床数				病院+診療所病床数			
	病院 総病床数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	診療所 病床数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	病院+ 診療所 病床数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	1,565,968		1,232	(497)	107,626		85	(101)	1,673,594		1,317	(557)
山口県	27,060	1.7%	1,926	64	1,894	1.8%	135	55	28,954	1.7%	2,061	63
岩国	2,347	9%	1,641	58	149	8%	104	52	2,496	9%	1,745	58
柳井	2,420	9%	2,985	85	125	7%	154	57	2,545	9%	3,140	83
周南	3,696	14%	1,467	55	290	15%	115	53	3,986	14%	1,582	55
山口・防府	4,794	18%	1,530	56	379	20%	121	54	5,173	18%	1,651	56
宇部・小野田	6,169	23%	2,389	73	195	10%	76	49	6,364	22%	2,464	71
下関	5,651	21%	2,105	68	653	34%	243	66	6,304	22%	2,348	69
長門	933	3%	2,633	78	54	3%	152	57	987	3%	2,785	76
萩	1,050	4%	1,980	65	49	3%	92	51	1,099	4%	2,073	64
出典	平成27年医療施設調査 厚生労働省 平成27年10月				平成27年医療施設調査 厚生労働省 平成27年10月				病院総病床数と診療所病床数の合計			

資_図表 35-7 病院病床数(一般病床、療養病床、精神病床)

二次医療圏	一般病床				療養病床				精神病床			
	病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	893,970		703	(227)	328,406		258	(209)	336,282		265	(217)
山口県	11,314	1.3%	805	54	9,647	2.9%	687	70	5,999	1.8%	427	57
岩国	1,068	9%	747	52	754	8%	527	63	525	9%	367	55
柳井	872	8%	1,076	66	1,048	11%	1,293	99	500	8%	617	66
周南	1,754	16%	696	50	1,321	14%	524	63	609	10%	242	49
山口・防府	2,149	19%	686	49	1,460	15%	466	60	1,171	20%	374	55
宇部・小野田	2,573	23%	996	63	1,997	21%	773	75	1,569	26%	608	66
下関	2,203	19%	820	55	2,302	24%	857	79	1,110	19%	413	57
長門	364	3%	1,027	64	243	3%	686	70	318	5%	897	79
萩	331	3%	624	47	522	5%	984	85	197	3%	372	55
出典	平成27年医療施設調査 厚生労働省 平成27年10月				平成27年医療施設調査 厚生労働省 平成27年10月				平成27年医療施設調査 厚生労働省 平成27年10月			

資_図表 35-8 回復期リハビリ病棟病床数と地域包括ケア病棟病床数

二次医療圏	回復期病床				地域包括ケア病床			
	病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	73,304		58	(47)	61,433		58	(56)
山口県	973	1.3%	69	52	1,310	2.1%	93	56
岩国	96	10%	67	52	112	9%	78	54
柳井	32	3%	39	46	70	5%	86	55
周南	264	27%	105	60	274	21%	109	59
山口・防府	94	10%	30	44	242	18%	77	53
宇部・小野田	155	16%	60	50	212	16%	82	54
下関	332	34%	124	64	362	28%	135	64
長門	0	0%	0	38	38	3%	107	59
萩	0	0%	0	38	0	0%	0	40
出典	平成27年度病床機能報告 平成27年7月				平成29年5月地方厚生局			

資_図表 35-9 公的病院病床数、民間病院病床数

二次医療圏	公的病院			民間病院			一般病床		療養病床	
	総病床数	一般病床数	療養病床数	総病床数	一般病床数	療養病床数	公的病院病床数の比率	偏差値*全国は標準偏差	公的病院病床数の比率	偏差値*全国は標準偏差
全国	549,932	467,163	29,302	1,011,492	427,742	293,995	52.2%	(24%)	9.1%	(23%)
山口県	8,848	7,712	837	18,165	3,634	8,763	68.0%	56	8.7%	50
岩国	648	648	0	1,699	420	754	60.7%	53	0.0%	46
柳井	900	840	60	1,520	32	988	96.3%	68	5.7%	49
周南	1,222	974	248	2,474	792	1,073	55.2%	51	18.8%	54
山口・防府	1,613	1,469	142	3,181	692	1,318	68.0%	56	9.7%	50
宇部・小野田	2,186	1,744	181	3,983	829	1,816	67.8%	56	9.1%	50
下関	1,870	1,719	115	3,734	484	2,140	78.0%	61	5.1%	48
長門	309	218	91	624	154	152	58.6%	53	37.4%	62
萩	100	100	0	950	231	522	30.2%	41	0.0%	46
出典	地方厚生局届出受理名簿平成27年5月公表データをもとに株式会社ウエルネスが集計(一部、ウエルネス独自調査含む) 公的病院はここでは、開設者が国もしくは都道府県、市町村、地方行政法人、その他の公的医療機関(日赤など)としている。									

資_図表 35-10 全身麻酔件数、分娩件数(年間)

二次医療圏	全身麻酔件数				分娩件数			
	全身麻酔件数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	分娩件数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	2,818,920		2,218	(1,031)	1,022,592		805	(283)
山口県	35,844	1.3%	2,552	53	12,036	1.2%	857	52
岩国	3,288	9%	2,299	51	1,104	9%	772	49
柳井	1,656	5%	2,043	48	420	3%	518	40
周南	4,704	13%	1,866	47	2,652	22%	1,052	59
山口・防府	8,424	24%	2,688	55	2,664	22%	850	52
宇部・小野田	8,808	25%	3,411	62	2,268	19%	878	53
下関	7,608	21%	2,833	56	2,256	19%	840	51
長門	516	1%	1,456	43	216	2%	609	43
萩	840	2%	1,584	44	456	4%	860	52
出典	平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月				平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月			

資_図表 35-11 医師数(総数、病院医師数、診療所医師数)

二次医療圏	総医師数				病院医師数				診療所医師数			
	総医師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	病院医師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	診療所医師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	345,356		272	(89)	214,678		169	(65)	130,678		103	(31)
山口県	3,849	1.1%	274	50	2,348	1.1%	167	50	1,501	1.1%	107	51
岩国	334	9%	234	46	199	8%	139	45	135	9%	95	47
柳井	187	5%	231	45	116	5%	143	46	71	5%	87	45
周南	576	15%	228	45	311	13%	123	43	265	18%	105	51
山口・防府	770	20%	246	47	452	19%	144	46	318	21%	101	50
宇部・小野田	971	25%	376	62	672	29%	260	64	299	20%	116	54
下関	804	21%	300	53	472	20%	176	51	333	22%	124	57
長門	88	2%	248	47	63	3%	177	51	25	2%	71	40
萩	119	3%	225	45	63	3%	119	42	56	4%	106	51
出典	病院医師数と診療所医師数の合計				平成27年病院報告 厚生労働省 平成27年10月				平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月			

資_図表 35-12 専門医数(総合内科、小児科、産婦人科)

二次医療圏	総合内科専門医数				小児科専門医数				産婦人科専門医数			
	総合内科専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	小児科専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	産婦人科専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	15,664		12.3	(6.5)	12,494		9.8	(4.5)	10,443		8.2	(3.7)
山口県	139	0.9%	9.9	46	132	1.1%	9.4	49	107	1.0%	7.6	48
岩国	11	8%	7.7	43	9	7%	6.3	42	8	7%	5.6	43
柳井	7	5%	8.6	44	5	4%	6.2	42	5	5%	6.2	44
周南	14	10%	5.6	40	23	17%	9.1	48	17	16%	6.7	46
山口・防府	27	19%	8.6	44	33	25%	10.5	52	27	25%	8.6	51
宇部・小野田	45	32%	17.4	58	36	27%	13.9	59	26	24%	10.1	55
下関	25	18%	9.3	45	23	17%	8.6	47	19	18%	7.1	47
長門	3	2%	8.5	44	2	2%	5.6	41	2	2%	5.6	43
萩	7	5%	13.2	51	1	1%	1.9	32	3	3%	5.7	43
出典	平成26年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成26年12月											

資_図表 35-13 専門医数(皮膚科、眼科、耳鼻咽喉科)

二次医療圏	皮膚科				眼科				耳鼻咽喉科			
	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	5,278		4.2	(2.1)	9,392		7.4	(3.1)	7,466		5.9	(2.5)
山口県	63	1.2%	4.5	52	96	1.0%	6.8	48	86	1.2%	6.1	51
岩国	4	6%	2.8	43	7	7%	4.9	42	9	10%	6.3	52
柳井	2	3%	2.5	42	2	2%	2.5	34	0	0%	0	27
周南	11	17%	4.4	51	18	19%	7.1	49	17	20%	6.7	53
山口・防府	12	19%	3.8	48	19	20%	6.1	46	17	20%	5.4	48
宇部・小野田	20	32%	7.7	67	29	30%	11.2	62	27	31%	10.5	68
下関	13	21%	4.8	53	16	17%	6.0	45	12	14%	4.5	44
長門	0	0%	0	30	2	2%	5.6	44	1	1%	2.8	38
萩	1	2%	1.9	39	3	3%	5.7	44	3	3%	5.7	49
出典	平成26年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成26年12月											

資_図表 35-14 専門医数(精神科、外科、整形外科)

二次医療圏	精神科				外科				整形外科			
	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	8,293		6.5	(3.5)	20,395		16.0	(6.9)	15,369		12.1	(4.4)
山口県	104	1.3%	7.4	53	234	1.1%	16.7	51	200	1.3%	14.2	55
岩国	16	15%	11.2	63	25	11%	17.5	52	14	7%	9.8	45
柳井	6	6%	7.4	53	11	5%	13.6	46	7	4%	8.6	42
周南	15	14%	6.0	48	28	12%	11.1	43	25	13%	9.9	45
山口・防府	27	26%	8.6	56	44	19%	14.0	47	46	23%	14.7	56
宇部・小野田	29	28%	11.2	64	72	31%	27.9	67	54	27%	20.9	70
下関	8	8%	3.0	40	41	18%	15.3	49	41	21%	15.3	57
長門	3	3%	8.5	56	4	2%	11.3	43	4	2%	11.3	48
萩	0	0%	0	31	9	4%	17.0	51	9	5%	17.0	61
出典	平成26年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成26年12月											

資_図表 35-15 専門医数(泌尿器科、脳神経外科、放射線科)

二次医療圏	泌尿器科				脳神経外科				放射線科			
	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	5,711		4.5	(2.0)	6,376		5.0	(2.3)	5,300		4.2	(2.9)
山口県	73	1.3%	5.2	53	90	1.4%	6.4	56	85	1.6%	6.1	56
岩国	6	8%	4.2	49	5	6%	3.5	43	5	6%	3.5	48
柳井	4	5%	4.9	52	3	3%	3.7	44	2	2%	2.5	44
周南	15	21%	6.0	57	13	14%	5.2	51	14	16%	5.6	55
山口・防府	10	14%	3.2	44	16	18%	5.1	50	16	19%	5.1	53
宇部・小野田	21	29%	8.1	68	29	32%	11.2	77	30	35%	11.6	76
下関	15	21%	5.6	55	21	23%	7.8	62	15	18%	5.6	55
長門	1	1%	2.8	42	0	0%	0	28	1	1%	2.8	45
萩	1	1%	1.9	37	3	3%	5.7	53	2	2%	3.8	49
出典	平成26年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成26年12月											

資_図表 35-16 専門医数(麻酔科、病理、救急科)

二次医療圏	麻酔科				病理				救急科			
	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	6,566		5.2	(3.0)	1,541		1.2	(0.9)	3,291		2.6	(1.7)
山口県	88	1.3%	6.3	54	12	0.8%	0.9	46	33	1.0%	2.3	49
岩国	3	3%	2.1	40	2	17%	1.4	52	1	3%	0.7	39
柳井	3	3%	3.7	45	0	0%	0	37	0	0%	0	35
周南	13	15%	5.2	50	1	8%	0.4	41	3	9%	1.2	42
山口・防府	18	20%	5.7	52	1	8%	0.3	40	7	21%	2.2	48
宇部・小野田	35	40%	13.6	78	3	25%	1.2	49	17	52%	6.6	73
下関	16	18%	6.0	53	5	42%	1.9	57	4	12%	1.5	44
長門	0	0%	0	33	0	0%	0	37	0	0%	0	35
萩	0	0%	0	33	0	0%	0	37	1	3%	1.9	46
出典	平成26年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成26年12月											

資_図表 35-17 専門医数 (形成外科、リハビリテーション科)

二次医療圏	形成外科 専門医数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	リハビリテ- ション科 専門医数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	1,984		1.6	(1.2)	2,370		1.9	(1.3)
山口県	13	0.7%	0.9	45	28	1.2%	2.0	51
岩国	2	15%	1.4	49	3	11%	2.1	52
柳井	0	0%	0	37	0	0%	0	36
周南	2	15%	0.8	43	6	21%	2.4	54
山口・防府	4	31%	1.3	48	5	18%	1.6	48
宇部・小野田	3	23%	1.2	47	5	18%	1.9	51
下関	2	15%	0.7	43	7	25%	2.6	56
長門	0	0%	0	37	0	0%	0	36
萩	0	0%	0	37	2	7%	3.8	65
出典	平成26年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成26年12月							

資_図表 35-18 看護師数 (総数、病院看護師数、診療所看護師数)

二次医療圏	総看護師 数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	病院 看護師数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	診療所 看護師数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	1,114,100		877	(286)	916,998		722	(240)	197,102		155	(73)
山口県	17,258	1.5%	1,229	62	14,325	1.6%	1,020	62	2,933	1.5%	209	57
岩国	1,549	9%	1,083	57	1,325	9%	926	59	224	8%	156	50
柳井	1,178	7%	1,453	70	1,005	7%	1,240	72	173	6%	214	58
周南	2,453	14%	973	53	2,018	14%	801	53	435	15%	173	52
山口・防府	3,388	20%	1,081	57	2,802	20%	894	57	586	20%	187	54
宇部・小野田	3,850	22%	1,491	71	3,333	23%	1,291	74	517	18%	200	56
下関	3,723	22%	1,387	68	2,876	20%	1,071	65	847	29%	315	72
長門	486	3%	1,372	67	433	3%	1,220	71	54	2%	152	50
萩	631	4%	1,190	61	533	4%	1,005	62	98	3%	185	54
出典	病院看護師数と診療所看護師数の合計				平成27年病院報告 厚生労働省 平成27年10月				平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月			

資_図表 35-19 総療法士数と薬剤師数

二次医療圏	総療法士数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	薬剤師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	126,125		99	(53)	288,151		227	(91)
山口県	2,018	1.6%	144	58	3,225	1.1%	230	50
岩国	148	7%	103	51	317	10%	222	49
柳井	76	4%	94	49	167	5%	206	48
周南	398	20%	158	61	594	18%	236	51
山口・防府	338	17%	108	52	723	22%	231	50
宇部・小野田	384	19%	149	59	699	22%	271	55
下関	578	29%	215	72	552	17%	206	48
長門	56	3%	158	61	77	2%	217	49
萩	40	2%	75	45	96	3%	181	45
出典	平成27年病院報告 厚生労働省 平成27年10月				平成26年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成26年12月			

資_図表 35-20 在宅医療施設数（在宅療養支援診療所、在宅療養支援病院、訪問看護ステーション）

二次医療圏	在宅療養支援診療所	県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差	在宅療養支援病院	県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差	訪問看護ステーション	県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	13,255		0.8	(0.4)	1,210		0.1	(0.1)	10,420		0.6	(0.2)
山口県	126	1.0%	0.6	44	15	1.2%	0.1	49	139	1.3%	0.6	48
岩国	7	6%	0.3	38	1	7%	0.0	45	10	7%	0.4	38
柳井	12	10%	0.7	47	0	0%	0	38	8	6%	0.5	41
周南	14	11%	0.4	40	5	33%	0.1	60	17	12%	0.5	41
山口・防府	25	20%	0.6	44	3	20%	0.1	49	37	27%	0.9	60
宇部・小野田	35	28%	0.9	51	5	33%	0.1	58	32	23%	0.8	58
下関	27	21%	0.6	45	1	7%	0.0	42	26	19%	0.6	47
長門	2	2%	0.3	37	0	0%	0	38	4	3%	0.5	44
萩	4	3%	0.3	39	0	0%	0	38	5	4%	0.4	40
出典	届出受理医療機関名簿 地方厚生局 平成29年5月				届出受理医療機関名簿 地方厚生局 平成29年5月				介護サービス情報公表システム 厚生労働省 平成29年5月			

資_図表 35-21 総高齢者施設・住宅定員数、介護保険施設定員(病床)数、高齢者住宅定員数

二次医療圏	総高齢者施設・住宅定員数	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	介護保険施設定員(病床)数				高齢者住宅定員数			
					全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差		
全国	1,674,440		104	(17)	992,340		62	(12)	682,100		42	(16)
山口県	22,073	1.3%	98	46	14,177	1.4%	63	51	7,896	1.2%	35	45
岩国	2,585	12%	105	51	1,380	10%	56	46	1,205	15%	49	54
柳井	1,918	9%	109	53	1,540	11%	88	71	378	5%	21	37
周南	3,258	15%	89	41	2,100	15%	58	47	1,158	15%	32	43
山口・防府	4,422	20%	102	49	2,756	19%	63	52	1,666	21%	38	48
宇部・小野田	4,342	20%	108	53	2,442	17%	61	50	1,900	24%	47	53
下関	3,942	18%	88	41	2,709	19%	61	49	1,233	16%	28	41
長門	692	3%	91	42	520	4%	68	55	172	2%	23	38
萩	914	4%	79	36	730	5%	63	51	184	2%	16	33
出典	介護保険施設定員(病床)数と高齢者住宅定員数の合計				老人保健施設(老健)定員数、特別養護老人ホーム(特養)定員数、介護療養病床数の合計				有料老人ホーム、軽費ホーム、グループホーム、サ高住の合計			

資_図表 35-22 老人保健施設(老健)定員数、特別養護老人ホーム(特養)定員数、介護療養病床数

二次医療圏	老人保健施設(老健)定員数	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	特別養護老人ホーム(特養)定員数				介護療養病床数			
					全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差		
全国	364,437		23	(5.8)	563,306		35	(9.7)	64,597		4.0	(4.1)
山口県	4,794	1.3%	21	48	7,352	1.3%	33	48	2,031	3.1%	9.0	62
岩国	460	10%	19	43	860	12%	35	50	60	3%	2.4	46
柳井	500	10%	28	60	596	8%	34	49	444	22%	25.3	102
周南	852	18%	23	51	1,060	14%	29	44	188	9%	5.2	53
山口・防府	1,136	24%	26	56	1,377	19%	32	47	243	12%	5.6	54
宇部・小野田	790	16%	20	45	1,267	17%	32	47	385	19%	9.6	64
下関	786	16%	18	41	1,352	18%	30	45	571	28%	12.8	71
長門	180	4%	24	52	340	5%	45	60	0	0%	0	40
萩	90	2%	8	25	500	7%	43	59	140	7%	12.1	70
出典	平成29年5月 都道府県介護サービス情報公表システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの											

資_図表 35-23 有料老人ホーム定員数、軽費ホーム定員数、グループホーム定員数

二次医療圏	有料老人ホーム	全国	75歳以上	偏差値 *全国は 標準偏差	軽費 ホーム	全国	75歳以上	偏差値 *全国は 標準偏差	グループ ホーム	全国	75歳以上	偏差値 *全国は 標準偏差
		シェア 県内 シェア	1,000人 当り			シェア 県内 シェア	1,000人 当り			シェア 県内 シェア	1,000人 当り	
全国	230,505		14.3	(10.8)	23,117		1.4	(2.1)	195,525		12.1	(5.8)
山口県	1,247	0.5%	5.5	42	660	2.9%	2.9	57	2,499	1.3%	11.1	48
岩国	353	28%	14.4	50	160	24%	6.5	74	369	15%	15.1	55
柳井	30	2%	1.7	38	50	8%	2.8	57	180	7%	10.2	47
周南	101	8%	2.8	39	170	26%	4.7	65	494	20%	13.5	52
山口・防府	227	18%	5.2	42	50	8%	1.2	49	484	19%	11.1	48
宇部・小野田	302	24%	7.5	44	180	27%	4.5	64	468	19%	11.7	49
下関	234	19%	5.2	42	0	0%	0	43	351	14%	7.8	43
長門	0	0%	0	37	0	0%	0	43	63	3%	8.2	43
萩	0	0%	0	37	50	8%	4.3	64	90	4%	7.8	43
出典	平成29年5月 都道府県介護サービス情報公表システムより株式会社ウエルネスが二次医療圏別に集計したもの											

資_図表 35-24 サービス付き高齢者専用賃貸住宅（サ高住）定員数

二次医療圏	サ高住 (全施設)	全国	75歳以上	偏差値 *全国は 標準偏差	サ高住 (特定 施設)	全国	75歳以上	偏差値 *全国は 標準偏差	サ高住 (非特定 施設)	全国	75歳以上	偏差値 *全国は 標準偏差
		シェア 県内 シェア	1,000人 当り			シェア 県内 シェア	1,000人 当り			シェア 県内 シェア	1,000人 当り	
全国	232,953		14.4	(7.2)	15,364		1.0	(1.7)	217,589		13.5	(6.7)
山口県	3,490	1.5%	15.4	51	148	1.0%	0.7	48	3,342	1.5%	14.8	52
岩国	323	9%	13.2	48	58	39%	2.4	58	265	8%	10.8	46
柳井	118	3%	6.7	39	0	0%	0	44	118	4%	6.7	40
周南	393	11%	10.8	45	0	0%	0	44	393	12%	10.8	46
山口・防府	905	26%	20.8	59	0	0%	0	44	905	27%	20.8	61
宇部・小野田	950	27%	23.7	63	40	27%	1.0	50	910	27%	22.7	64
下関	648	19%	14.5	50	0	0%	0	44	648	19%	14.5	51
長門	109	3%	14.3	50	50	34%	6.5	83	59	2%	7.7	41
萩	44	1%	3.8	35	0	0%	0	44	44	1%	3.8	36
出典	サ高住(特定施設)とサ高住(非特定施設)の合計				平成29年5月 都道府県介護サービス情報公表システムより株式会社ウエルネスが二次医療圏別に集計したもの				平成29年4月 国土交通省・厚生労働省 サービス付き高齢者向け住宅 情報提供システムより株式会社ウエルネスが二次医療圏別に集計したもの			

資_図表 35-25 介護サービス従事看護師数(介護施設、訪問看護)(常勤換算)

二次医療圏	介護サービス従事看護師数	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	看護師数 (施設)	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	看護師数 (訪問)	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	165,392		10.3	(2.3)	119,201		7.4	(2.1)	46,191		2.9	(1.0)
山口県	2,530	1.5%	11.2	54	1,972	1.7%	8.7	57	558	1.2%	2.5	46
岩国	192	8%	7.8	40	159	8%	6.5	46	33	6%	1.4	34
柳井	342	13%	19.4	89	307	16%	17.5	99	34	6%	1.9	40
周南	383	15%	10.5	51	301	15%	8.3	54	81	15%	2.2	43
山口・防府	475	19%	10.9	53	315	16%	7.3	49	160	29%	3.7	59
宇部・小野田	485	19%	12.1	58	357	18%	8.9	57	127	23%	3.2	53
下関	486	19%	10.9	53	391	20%	8.7	57	95	17%	2.1	42
長門	60	2%	7.9	40	46	2%	6.0	43	14	3%	1.9	40
萩	107	4%	9.3	46	95	5%	8.3	54	12	2%	1.0	31
出典	平成29年5月 都道府県介護サービス情報公表システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの											

資_図表 35-26 介護サービス従事介護職員数(介護施設等、在宅介護)(常勤換算)

二次医療圏	介護サービス従事介護職員数	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	介護職員数 (介護施設等)	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	介護職員数 (在宅)	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	1,457,554		90	(12.5)	1,233,195		76	(11.5)	224,360		13.9	(5.6)
山口県	19,429	1.3%	86	46	17,017	1.4%	75	49	2,412	1.1%	10.7	44
岩国	2,124	11%	87	47	1,900	11%	78	51	224	9%	9.1	42
柳井	1,498	8%	85	46	1,343	8%	76	50	155	6%	8.8	41
周南	3,247	17%	89	49	2,844	17%	78	51	403	17%	11.1	45
山口・防府	3,957	20%	91	51	3,425	20%	79	52	533	22%	12.3	47
宇部・小野田	3,433	18%	86	46	3,000	18%	75	49	433	18%	10.8	44
下関	3,663	19%	82	43	3,127	18%	70	44	536	22%	12.0	47
長門	584	3%	76	39	528	3%	69	44	56	2%	7.3	38
萩	924	5%	80	42	850	5%	74	48	73	3%	6.3	37
出典	平成29年5月 都道府県介護サービス情報公表システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの											

資_図表 35-27 在宅医療・介護サービス利用者数(月間)

二次医療圏	在宅医療 利用者数	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	訪問看護 利用者数	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	訪問介護 利用者数	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	1,072,285		66	(31)	450,441		28	(12)	1,480,879		92	(32)
山口県	9,984	0.9%	44	43	4,384	1.0%	19	43	16,989	1.1%	75	45
岩国	765	8%	31	39	200	5%	8	33	1,542	9%	63	41
柳井	565	6%	32	39	331	8%	19	42	1,044	6%	59	40
周南	1,146	11%	31	39	705	16%	19	43	2,849	17%	78	46
山口・防府	2,726	27%	63	49	1,515	35%	35	56	3,632	21%	84	47
宇部・小野田	1,930	19%	48	44	705	16%	18	41	2,965	17%	74	44
下関	2,448	25%	55	46	677	15%	15	39	3,971	23%	89	49
長門	50	1%	7	31	140	3%	18	42	511	3%	67	42
萩	354	4%	31	39	111	3%	10	35	475	3%	41	34
出典	平成29年5月 都道府県介護サービス情報公表システムより株式会社ウエルネスが二次医療圏別に集計したもの											

資_図表 35-28 総人口の推移と医療需要⁸の増減(医療費ベース)

二次医療圏	地域タイプ	総人口(2005→2015→2025)					医療需要推移(医療費ベース) (2005→2015→2025)		
		2005年	2015年	2005→ 15年 増減率	2025年 (推計)	2005→ 25年 増減率	2005→ 15年 増減率	2015→ 25年 増減率	2005→ 25年 増減率
全国		127,767,994	127,094,745	-1%	120,699,960	-6%	12%	6%	18%
山口県		1,492,606	1,404,729	-6%	1,275,187	-15%	6%	-1%	5%
岩国	過疎地域型	156,143	143,042	-8%	128,851	-17%	3%	-2%	2%
柳井	地方都市型	91,515	81,062	-11%	70,455	-23%	-2%	-6%	-8%
周南	地方都市型	259,867	252,023	-3%	234,369	-10%	10%	2%	13%
山口・防府	地方都市型	316,115	313,364	-1%	291,887	-8%	9%	3%	12%
宇部・小野田	地方都市型	275,055	258,259	-6%	234,351	-15%	5%	0%	5%
下関	地方都市型	290,693	268,517	-8%	241,519	-17%	5%	-1%	4%
長門	過疎地域型	41,127	35,439	-14%	29,893	-27%	-2%	-7%	-9%
萩	過疎地域型	62,091	53,023	-15%	43,862	-29%	-3%	-8%	-11%
出典	<人口(2005年)>平成17年国勢調査 都道府県・市区町村別統計表(男女別人口,年齢(3区分)・割合,就業者数,昼間人口など) <人口(2015年)>平成27年国勢調査 人口等基本集計 平成27年10月 <人口(2025年)>日本の地域別将来推計人口 国立社会保障・人口問題研究所 平成25年3月								

資_図表 35-29 病院数の推移と予測

二次医療圏	2004年			2014年			2004→2014増減		2025年
	数	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	数	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	増減数	増減率	推計値
全国	9,077	7.1	(3.9)	8,493	6.7	(4.1)	-584	-6%	7,882
山口県	151	10.1	58	147	10.5	59	-4	-3%	143
岩国	17	10.9	60	17	11.9	63	0	0%	17
柳井	10	10.9	60	9	11.1	61	-1	-10%	8
周南	22	8.5	54	24	9.5	57	2	9%	26
山口・防府	27	8.5	54	27	8.6	55	0	0%	27
宇部・小野田	31	11.3	61	30	11.6	62	-1	-3%	29
下関	31	10.7	59	27	10.1	58	-4	-13%	23
長門	6	14.6	69	6	16.9	75	0	0%	6
萩	7	11.3	61	7	13.2	66	0	0%	7
出典	<病院数2004年>平成16年医療施設調査 厚生労働省 平成16年10月 <病院数2014年>平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月								

資_図表 35-30 診療所数の推移と予測

二次医療圏	2004年			2014年			2004→2014増減		2025年
	数	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	数	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	増減数	増減率	推計値
全国	97,051	76	(20)	100,461	79	(19)	3,410	4%	104,229
山口県	1,326	89	56	1,274	91	56	-52	-4%	1,218
岩国	144	92	58	129	90	56	-15	-10%	113
柳井	78	85	55	72	89	55	-6	-8%	65
周南	228	88	56	218	87	54	-10	-4%	207
山口・防府	265	84	54	255	81	51	-10	-4%	244
宇部・小野田	250	91	57	246	95	59	-4	-2%	242
下関	273	94	59	273	102	62	0	0%	273
長門	29	71	47	27	76	48	-2	-7%	25
萩	59	95	60	54	102	62	-5	-8%	49
出典	<診療所数2004年>平成16年医療施設調査 厚生労働省 平成16年10月 <診療所数2014年>平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月								

資_図表 35-31 医師数の推移と予測

二次医療圏	2004年			2014年			2004→2014増減		2025年
	数	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	数	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	増減数	増減率	推計値
全国	270,371	212	(84)	311,205	245	(94)	40,834	15%	356,135
山口県	3,578	240	53	3,619	258	51	41	1%	3,663
岩国	301	193	48	322	225	48	21	7%	345
柳井	194	212	50	175	216	47	-19	-10%	154
周南	466	179	46	518	206	46	52	11%	575
山口・防府	694	220	51	712	227	48	18	3%	732
宇部・小野田	1,083	394	72	1,035	401	67	-48	-4%	982
下関	660	227	52	704	262	52	44	7%	752
長門	72	175	46	62	175	43	-10	-14%	51
萩	108	174	46	91	172	42	-17	-16%	72
出典	<総医師数2004年>平成16年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成16年12月 <総医師数2014年>平成26年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成26年12月								

資_図表 35-32 総病床数(精神科を含む)の推移と予測

二次医療圏	2004年			2014年			2004→2014増減		2025年
	数	人口 1万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	数	人口 1万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	増減数	増減率	推計値
全国	1,812,554	142	(56)	1,680,625	132	(56)	-131,929	-7%	1,535,514
山口県	31,462	211	62	29,132	207	63	-2,330	-7%	26,569
岩国	2,604	167	54	2,499	175	58	-105	-4%	2,384
柳井	2,839	310	80	2,613	322	84	-226	-8%	2,364
周南	4,399	169	55	4,005	159	55	-394	-9%	3,572
山口・防府	5,578	176	56	5,200	166	56	-378	-7%	4,784
宇部・小野田	7,049	256	70	6,399	248	70	-650	-9%	5,684
下関	6,719	231	66	6,323	235	68	-396	-6%	5,887
長門	1,052	256	70	987	279	76	-65	-6%	916
萩	1,222	197	60	1,106	209	64	-116	-9%	978
出典	<総病床数2004年>平成16年医療施設調査 厚生労働省 平成16年10月 <総病床数2014年>平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月								

資_図表 35-33 一般病床数(病院+診療所)の推移と予測

二次医療圏	2004年			2014年			2004→2014増減		2025年(推計値)	
	数	人口 1万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	数	人口 1万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	増減数	増減率	数	人口 1万 当り
全国	1,068,821	84	(28)	995,170	78	(27)	-73,651	-7%	914,162	76
山口県	14,289	96	54	13,051	93	55	-1,238	-9%	11,689	92
岩国	1,284	82	49	1,204	84	52	-80	-6%	1,116	87
柳井	1,001	109	59	993	122	66	-8	-1%	984	140
周南	2,452	94	54	1,985	79	50	-467	-19%	1,471	63
山口・防府	2,585	82	49	2,530	81	51	-55	-2%	2,470	85
宇部・小野田	3,120	113	61	2,787	108	61	-333	-11%	2,421	103
下関	2,909	100	56	2,753	103	59	-156	-5%	2,581	107
長門	460	112	60	418	118	65	-42	-9%	372	124
萩	478	77	48	381	72	48	-97	-20%	274	62
出典	<一般病床数2004年>平成16年医療施設調査 厚生労働省 平成16年10月 <一般病床数2014年>平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月									

資_図表 35-34 療養病床数(病院+診療所)の推移と予測

二次医療圏	2004年			2014年			2004→2014増減		2025年(推計値)	
	数	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	数	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	増減数	増減率	数	75歳以上 1,000人 当り
全国	373,823	32	(18)	339,554	21	(12)	-34,269	-9%	301,883	14
山口県	10,669	59	65	9,922	44	69	-747	-7%	9,102	33
岩国	745	38	54	770	31	59	25	3%	798	27
柳井	1,160	71	72	1,060	60	83	-100	-9%	950	49
周南	1,304	47	58	1,399	38	65	95	7%	1,504	31
山口・防府	1,759	52	61	1,485	34	61	-274	-16%	1,184	21
宇部・小野田	2,240	69	71	2,013	50	75	-227	-10%	1,763	35
下関	2,663	76	75	2,424	54	78	-239	-9%	2,161	40
長門	266	40	55	243	32	59	-23	-9%	218	27
萩	532	53	62	528	46	71	-4	-1%	524	42
出典	<一般病床数2004年>平成16年医療施設調査 厚生労働省 平成16年10月 <一般病床数2014年>平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月									

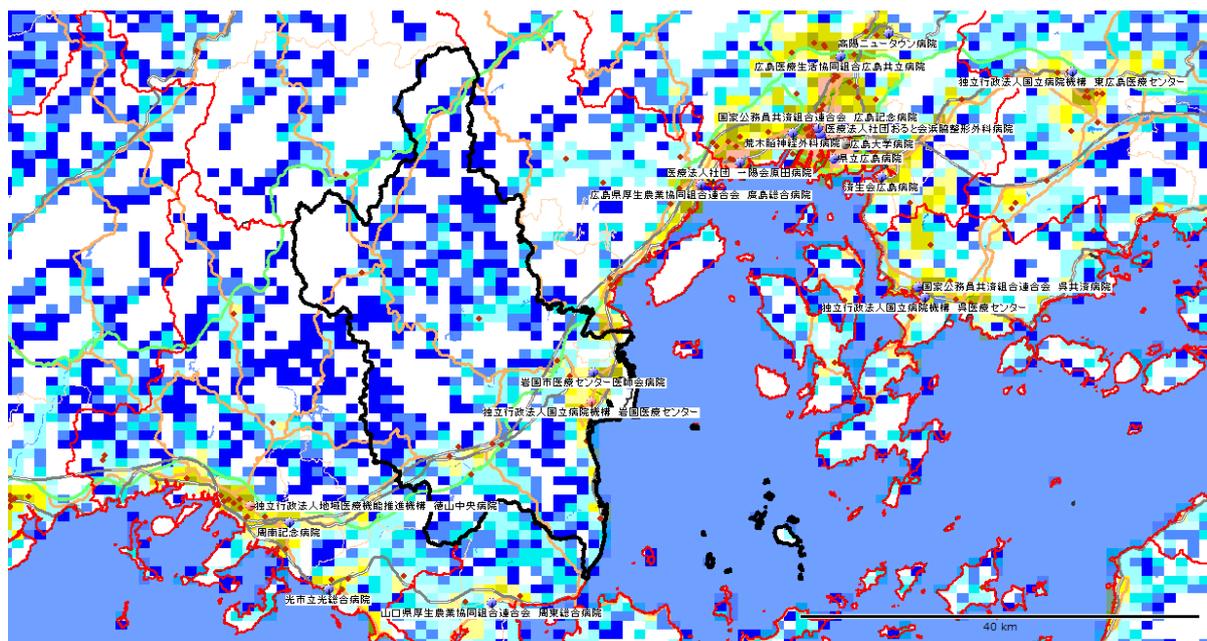
資_図表 35-35 後期高齢者の医療費・地域差指数⁷

二次医療圏	一人あたり 後期高齢者 医療費 (単位:千円)	偏差値 *全国は 標準偏差	地域差 指数	入院費 (単位:千円)	偏差値 *全国は 標準偏差	地域差 指数	入院外+ 調剤 (単位:千円)	偏差値 *全国は 標準偏差	地域差 指数
全国	934	(123)	1.000	460	(99)	1.000	441	(41)	1.000
山口県	1,040	59	1.107	579	62	1.239	433	48	0.987
岩国	1,040	59	1.104	577	62	1.230	433	48	0.982
柳井	945	51	0.998	535	58	1.118	385	36	0.881
周南	941	51	1.017	504	55	1.101	410	42	0.943
山口・防府	1,024	57	1.090	559	60	1.196	436	49	0.993
宇部・小野田	1,114	65	1.184	621	66	1.327	463	55	1.051
下関	1,100	63	1.175	628	67	1.354	442	50	1.006
長門	1,138	67	1.207	662	70	1.412	457	54	1.035
萩	1,001	55	1.061	562	60	1.198	412	43	0.933
出典	＜一人あたり医療費＞平成27年度医療費の地域差分析 厚生労働省								

35-1. いわくに 岩国医療圏

構成市区町村⁹ [岩国市](#) [和木町](#)

人口分布¹ (1km²区画単位)



区画内人口(1平方キロ)



DPC病院

- I 群
- II 群
- III 群
- 一般病院

(岩国医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

【地域の概要】

***人口、面積など：** 岩国(岩国市)は、総人口約143千人(2015年)、面積884km²、人口密度は162人/km²の過疎地域型二次医療圏である。

***人口の将来予測：** 岩国の総人口は2025年に129千人へと減少し(2015年比-10%)、2040年に106千人へと減少する(2025年比-18%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の25千人が、2025年にかけて29千人へと増加し(2015年比+16%)、2040年には26千人へと減少する(2025年比-10%)ことが予想される。

***医療費と介護給付費：** 岩国の一人当たり医療費(国保)は420千円(偏差値67)、介護給付費は261千円(偏差値52)であり、医療費は非常に高く、介護給付費は全国平均レベルである。

【医療の現状】

***入院医療の充実度：** 岩国の一人当たり急性期医療密度指数²は1.19、一人当たり慢性期医療密度指数²は5.84で、急性期の医療は全国平均レベルであるが、慢性期の医療はかなり余裕がある。

***医師・看護師の現状：** 総医師数³の偏差値が46(病院医師数45、診療所医師数47)と、総医師数、病院医師数、診療所医師数ともにほぼ全国平均レベルである。総看護師数の偏差値は57と多い。

***一般病床等の現状：** 人口当たりの一般病床の偏差値は52で、一般病床数は全国平均レベルである。全身麻酔数の偏差値は51と全国平均レベルである。岩国には、年間全身麻酔件数が2000例以上の国立病院機構岩国医療センター(Ⅱ群・救命)がある。

***療養病床の現状：** 人口当たりの療養病床の偏差値は63と療養病床数は多い。

***リハビリの現状：** 総療法士数は偏差値51と全国平均レベルであり、回復期病床数は偏差値52と全国平均レベルである。

***精神病床の現状：** 人口当たりの精神病床の偏差値は55で精神病床数はやや多い。

***診療所の現状：** 人口当たりの診療所数の偏差値は55で診療所数はやや多い。

【介護施設や在宅ケアの現状】

***介護施設の現状：** 岩国の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、2585人(75歳以上1000人当たりの偏差値51)と全国平均レベルである。そのうち、介護保険施設の定員が1380床(偏差値46)、高齢者住宅等が1205床(偏差値54)である。介護保険施設は全国平均レベルをやや下回るが、高齢者住宅等は全国平均レベルをやや上回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、1900人(75歳以上1000人当たりの偏差値51)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルである。

施設別の75歳以上1000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設43、特別養護老人ホーム50、介護療養型医療施設46、有料老人ホーム50、軽費ホーム74、グループホーム55、サ高住48である。

***在宅ケアの現状：** 在宅療養支援診療所は偏差値38と少なく、在宅療養支援病院は偏差値45とやや少ない。また、訪問看護ステーションは偏差値38と少ない。介護職員(在宅)の合計は、224人(75歳以上1000人当たりの偏差値42)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを下回る。

***介護の2025年の需要予測：** 2025年の介護充足度指数⁴は-2%であり、2025年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、現在の高齢者施設・住宅数でほぼ対応可能である。

(岩国医療圏) 2. 推移と将来推計

【人口と医療需要】

岩国医療圏の総人口は、2005年156143人が、2015年に143042人と8%減少し、2025年の人口が128851人と予測され、2005年→2025年の間に17%程度の減少が予測されている。

医療の需要(医療費ベース)は、2005年から2015年に3%増加し、2015年から2025年にかけて2%程度の減少が予測される。

【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

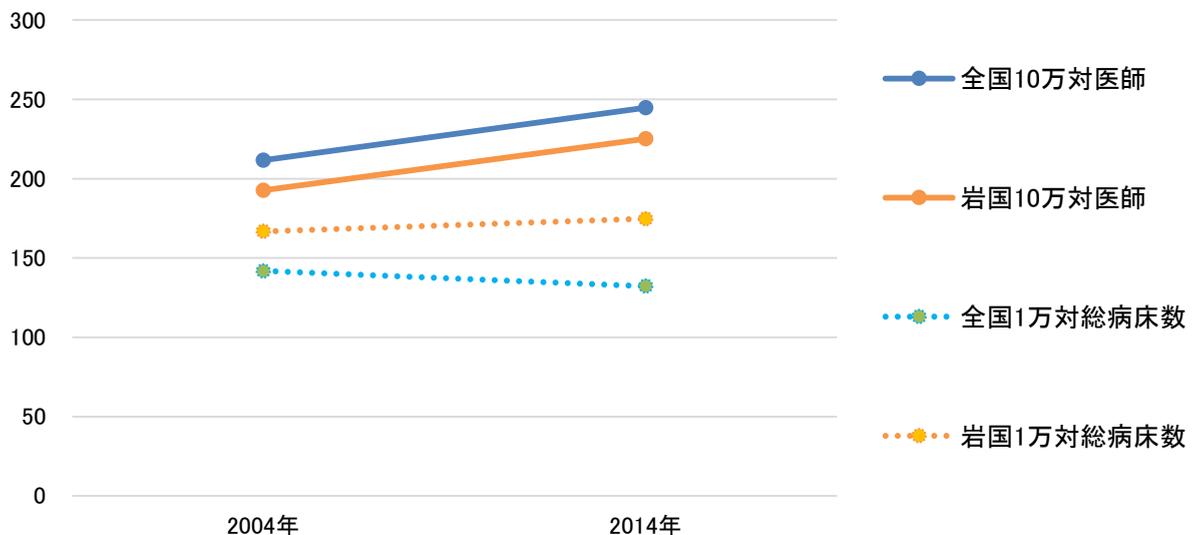
2004年の病院数が17(人口10万人当たり10.9病院(全国平均7.1)偏差値60)であったが、2014年に17(人口10万人当たり11.9病院(全国平均6.7)偏差値63)となり、10年間で増減がなかった。

2004年の診療所数が144(人口10万人当たり92診療所(全国平均76)偏差値58)であったが、2014年に129(人口10万人当たり90診療所(全国平均79)偏差値56)と、15診療所が減少した。

2004年の総病床数が2604床(人口1万人当たり167(全国平均142)偏差値54)であったが、2014年に2499床(人口1万人当たり175(全国平均132)偏差値58)と、105床の減少、率にして4%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。

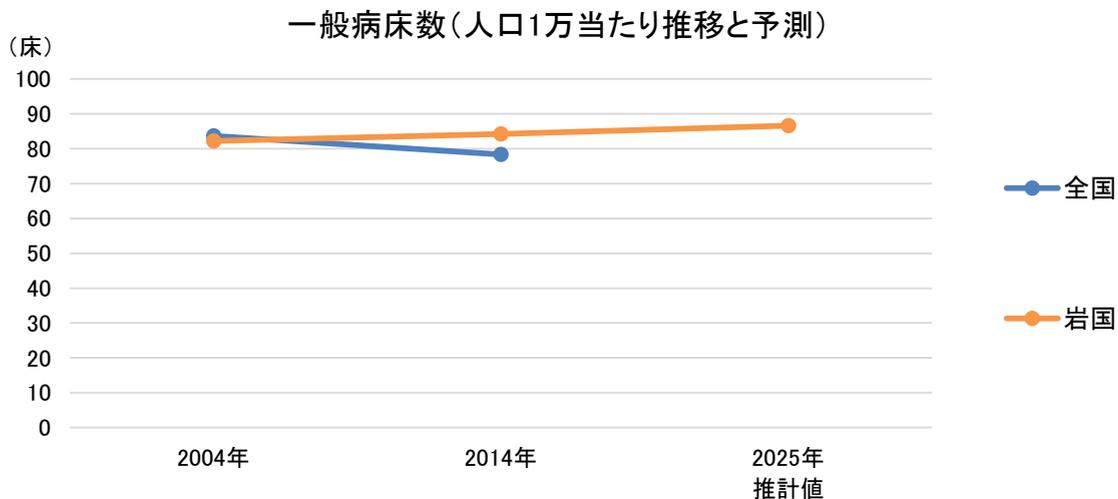
2004年には病院と診療所合わせての総医師数³が301人(人口10万人当たり193人(全国平均212人)偏差値48)であったが、2014年に322人(人口10万人当たり225人(全国平均245人)偏差値48)と、21人の増加、率にして7%の増加(全国平均15%の増加)が見られた。

2004→2014年 人口当たり医師数・病床数



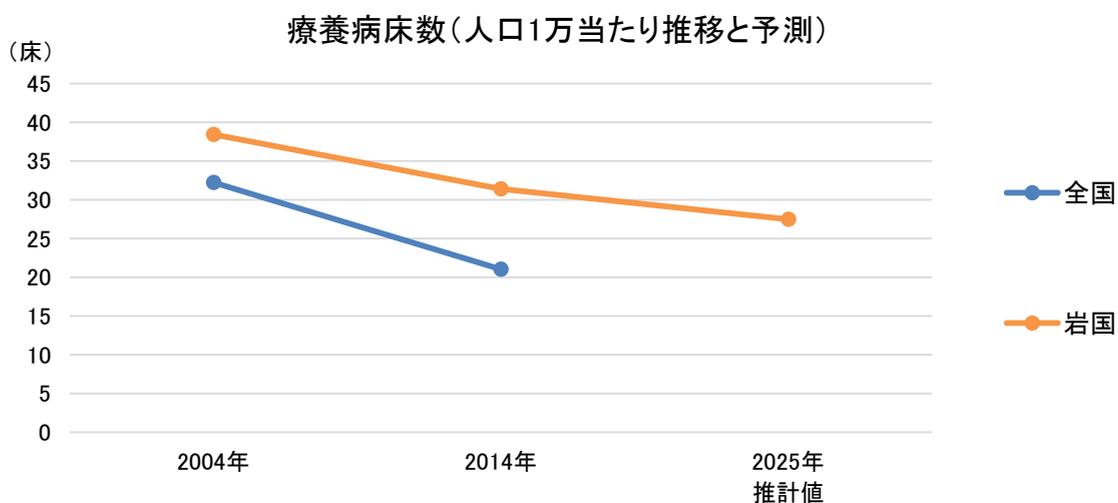
【一般病床の推移と今後の予測】

2004年の一般病床(病院+診療所)が1284床(人口1万人当たり82(全国平均84)偏差値49)であったが、2014年に1204床(人口1万人当たり84(全国平均78)偏差値52)と、80床の減少、率にして6%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には1116床(2025年の推計人口1万人当たり87)になることが予想される。



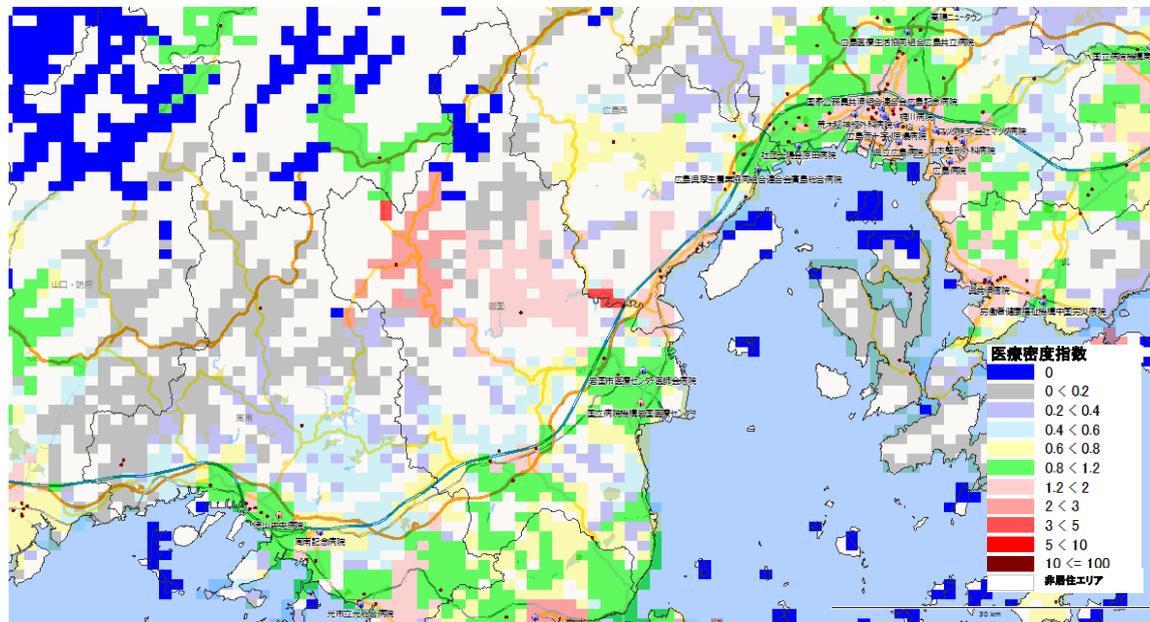
【療養病床の推移と今後の予測】

2004年の療養病床(病院+診療所)が745床(75歳以上1000人当たり38(全国平均32)偏差値54)であったが、2014年に770床(75歳以上1000人当たり31(全国平均21)偏差値59)と、25床の増加、率にして3%の増加(全国平均9%の減少)が見られた。この調子で増加が続くとすると2025年には798床(2025年の推計75歳以上1000人当たり27)になることが予想される。



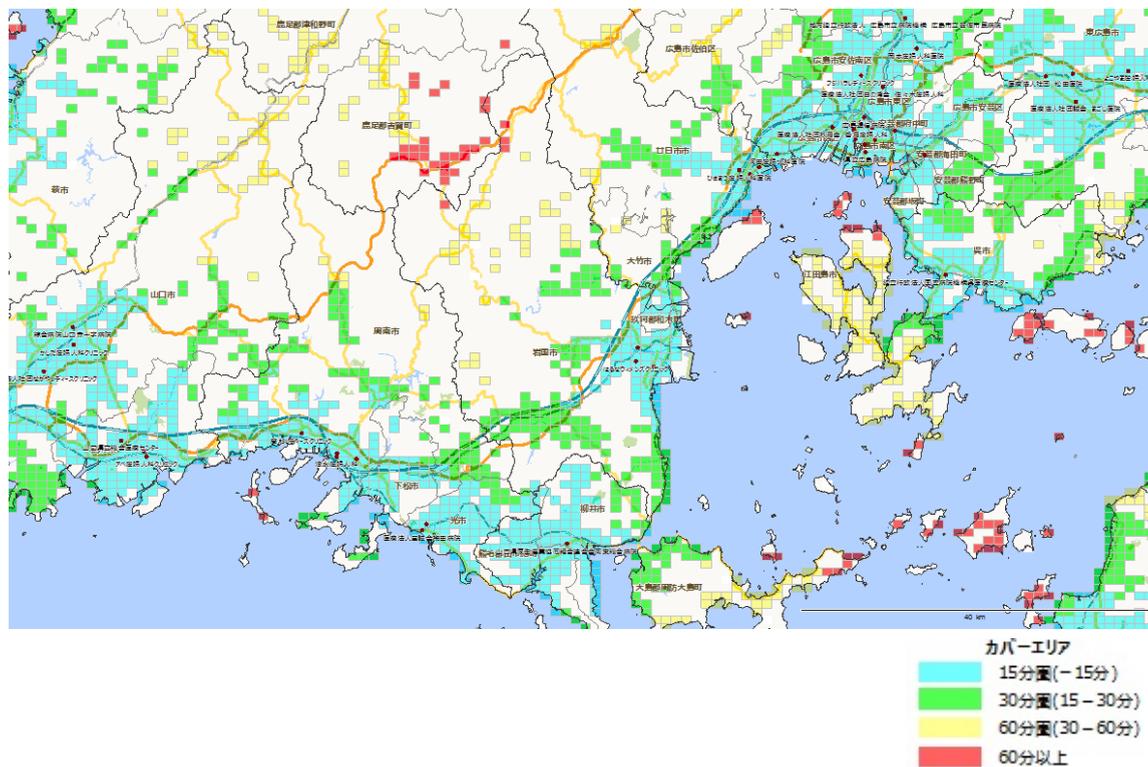
(岩国医療圏) 3. 医療密度⁵・周産期カバーエリア

図表35-1-1 急性期医療密度指数マップ



図表35-1-2 分娩医療機関への所用運転時間(カバーエリア)

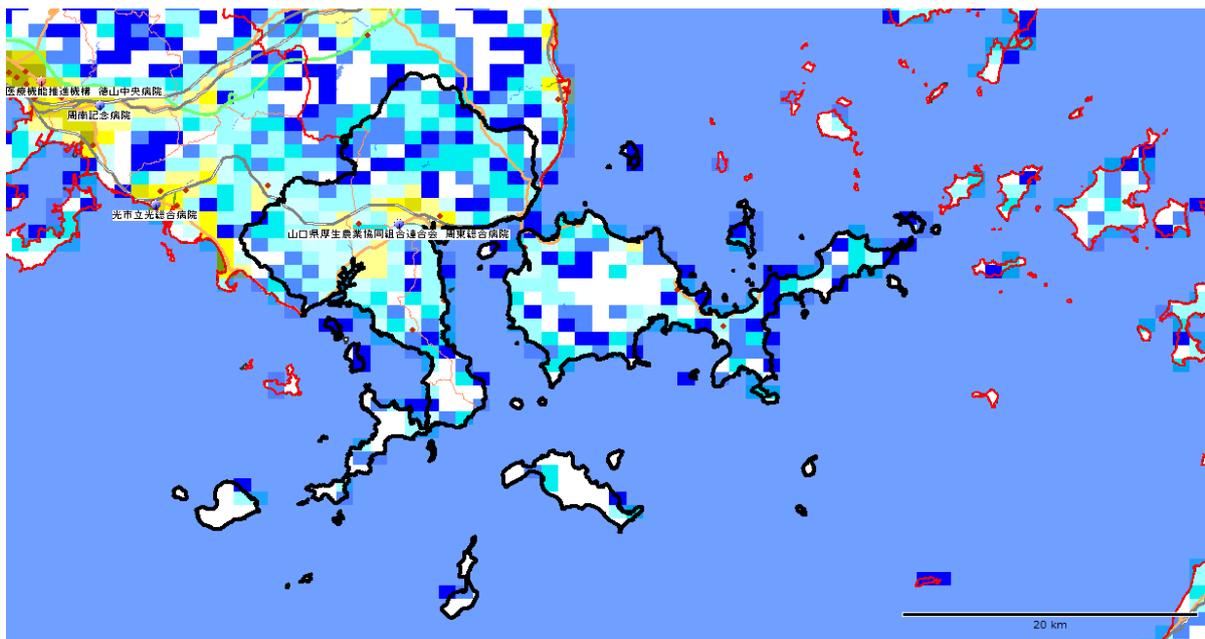
※各メッシュから分娩医療機関への所用運転時間の推計値を掲載した。(集計方法は補論参照のこと)



35-2. やない 柳井医療圏

構成市区町村⁹ [柳井市](#) [周防大島町](#) [上関町](#) [田布施町](#)
[平生町](#)

人口分布¹ (1km²区画単位)



区画内人口(1平方キロ)



DPC病院



(柳井医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

【地域の概要】

*人口、面積など： 柳井(柳井市)は、総人口約81千人(2015年)、面積398km²、人口密度は204人/km²の地方都市型二次医療圏である。

*人口の将来予測： 柳井の総人口は2025年に70千人へと減少し(2015年比-14%)、2040年に55千人へと減少する(2025年比-21%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の18千人が、2025年にかけて20千人へと増加し(2015年比+11%)、2040年には16千人へと減少する(2025年比-20%)ことが予想される。

*医療費と介護給付費： 柳井の一人当たり医療費(国保)は450千円(偏差値74)、介護給付費は266千円(偏差値54)であり、医療費は非常に高く、介護給付費はやや高い。

【医療の現状】

*入院医療の充実度： 柳井の一人当たり急性期医療密度指数²は1.15、一人当たり慢性期医療密度指数²は1.46で、急性期の医療は全国平均レベルであるが、慢性期の医療は充実している。

*医師・看護師の現状： 総医師数³の偏差値が45(病院医師数46、診療所医師数45)と、総医師数、病院医師数、診療所医師数ともほぼ全国平均レベルである。総看護師数の偏差値は70と非常に多い。

*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は66で、一般病床数は非常に多い。全身麻酔数の偏差値は48と全国平均レベルである。柳井には、年間全身麻酔件数が500例以上の周東総合病院(Ⅲ群)がある。

*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は99と療養病床数は非常に多い。

*リハビリの現状： 総療法士数は偏差値49と全国平均レベルであり、回復期病床数は偏差値46とやや少ない。

*精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は66で精神病床数は非常に多い。

*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は55で診療所数はやや多い。

【介護施設や在宅ケアの現状】

*介護施設の現状： 柳井の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、1918人(75歳以上1000人当たりの偏差値53)と全国平均レベルをやや上回る。そのうち、介護保険施設の定員が1540床(偏差値71)、高齢者住宅等が378床(偏差値37)である。介護保険施設は全国平均レベルを大きく上回るが、高齢者住宅等は全国平均レベルを下回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、1343人(75歳以上1000人当たりの偏差値50)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルである。

施設別の75歳以上1000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設60、特別養護老人ホーム49、介護療養型医療施設102、有料老人ホーム38、軽費ホーム57、グループホーム47、サ高住39である。

*在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値47とやや少なく、在宅療養支援病院は存在しない。また、訪問看護ステーションは偏差値41と少ない。介護職員(在宅)の合計は、155人(75歳以上1000人当たりの偏差値41)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを下回る。

*介護の2025年の需要予測： 2025年の介護充足度指数⁴は+12%であり、2025年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、現在の高齢者施設・住宅数でやや過剰ぎみである。

(柳井医療圏) 2. 推移と将来推計

【人口と医療需要】

柳井医療圏の総人口は、2005年91515人が、2015年に81062人と11%減少し、2025年の人口が70455人と予測され、2005年→2025年の間に23%程度の減少が予測されている。

医療の需要(医療費ベース)は、2005年から2015年に2%減少し、2015年から2025年にかけて6%程度の減少が予測される。

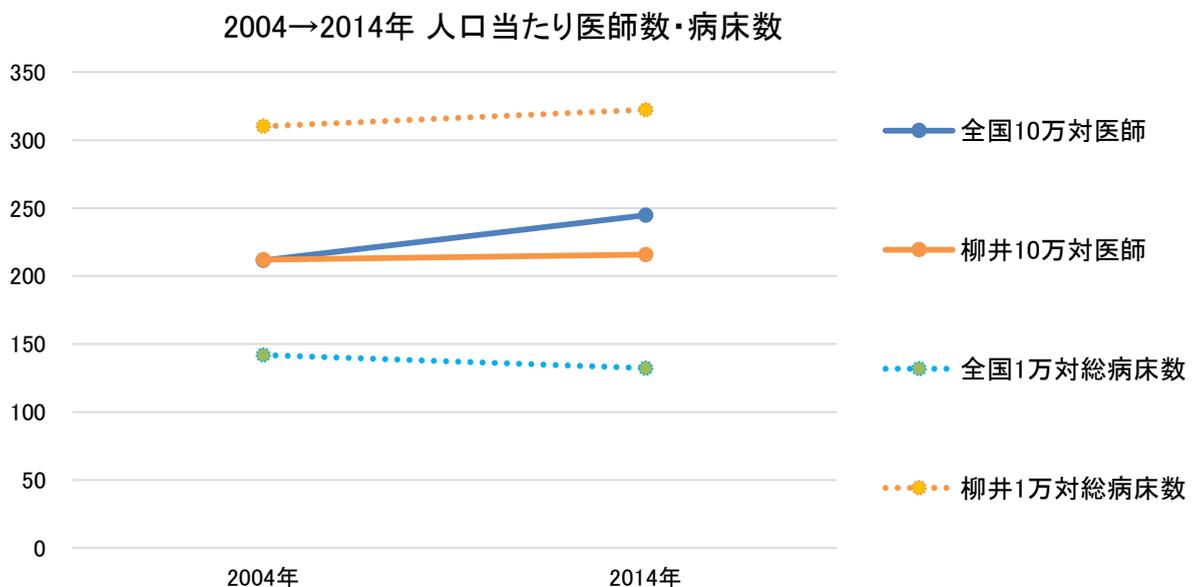
【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

2004年の病院数が10(人口10万人当たり10.9病院(全国平均7.1)偏差値60)であったが、2014年に9(人口10万人当たり11.1病院(全国平均6.7)偏差値61)となり、10年間で1病院が減少した。

2004年の診療所数が78(人口10万人当たり85診療所(全国平均76)偏差値55)であったが、2014年に72(人口10万人当たり89診療所(全国平均79)偏差値55)と、6診療所が減少した。

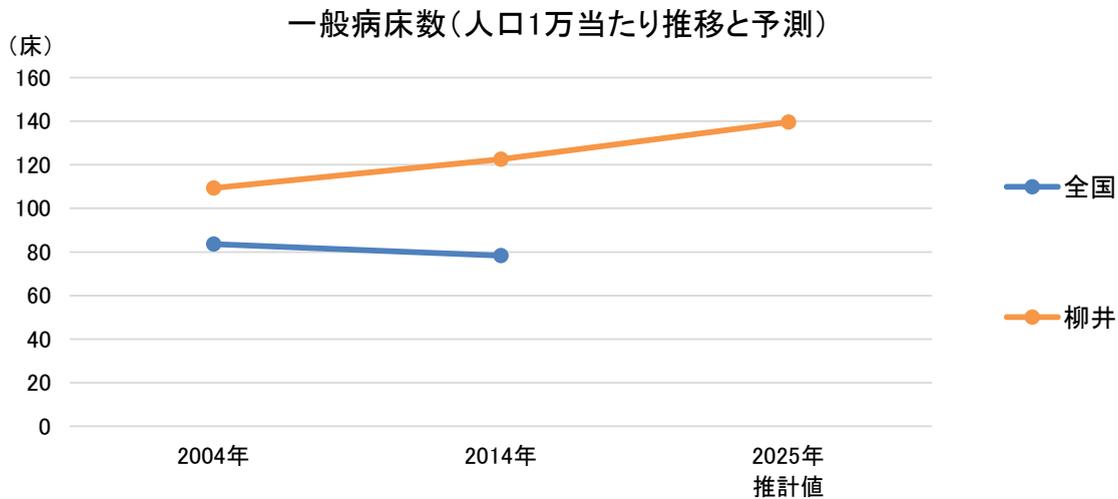
2004年の総病床数が2839床(人口1万人当たり310(全国平均142)偏差値80)であったが、2014年に2613床(人口1万人当たり322(全国平均132)偏差値84)と、226床の減少、率にして8%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。

2004年には病院と診療所合わせての総医師数³が194人(人口10万人当たり212人(全国平均212人)偏差値50)であったが、2014年に175人(人口10万人当たり216人(全国平均245人)偏差値47)と、19人の減少、率にして10%の減少(全国平均15%の増加)が見られた。



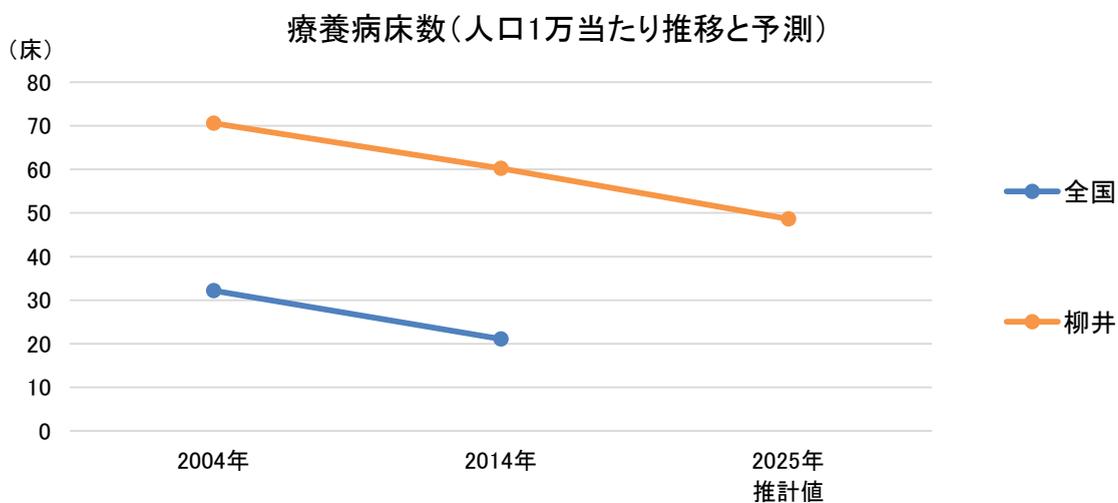
【一般病床の推移と今後の予測】

2004年の一般病床(病院+診療所)が1001床(人口1万人当たり109(全国平均84)偏差値59)であったが、2014年に993床(人口1万人当たり122(全国平均78)偏差値66)と、8床の減少、率にして1%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には984床(2025年の推計人口1万人当たり140)になることが予想される。



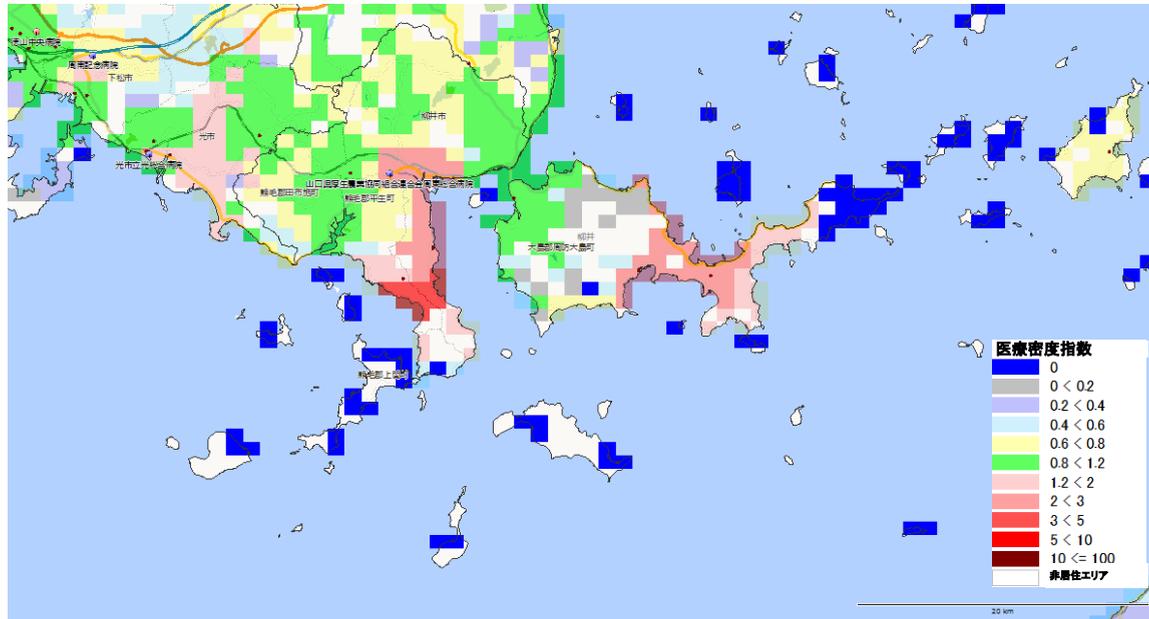
【療養病床の推移と今後の予測】

2004年の療養病床(病院+診療所)が1160床(75歳以上1000人当たり71(全国平均32)偏差値72)であったが、2014年に1060床(75歳以上1000人当たり60(全国平均21)偏差値83)と、100床の減少、率にして9%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には950床(2025年の推計75歳以上1000人当たり49)になることが予想される。



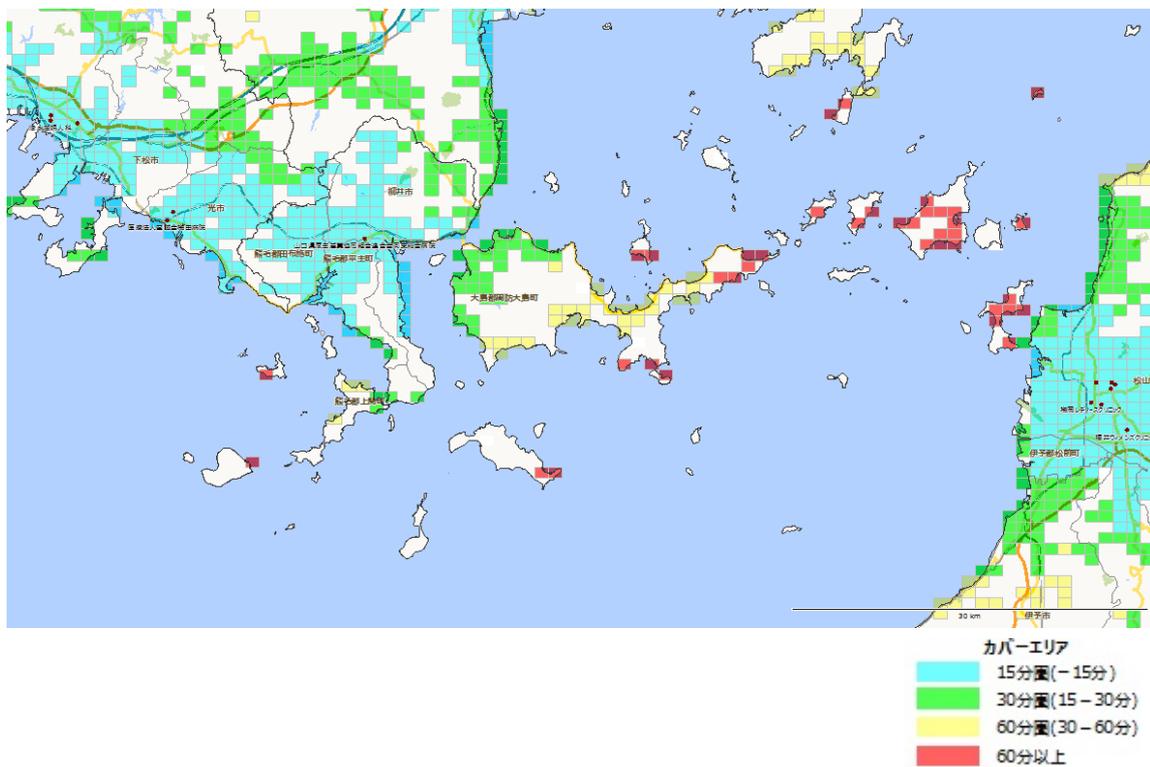
(柳井医療圏) 3. 医療密度⁵・周産期カバーエリア

図表35-2-1 急性期医療密度指数マップ



図表35-2-2 分娩医療機関への所用運転時間(カバーエリア)

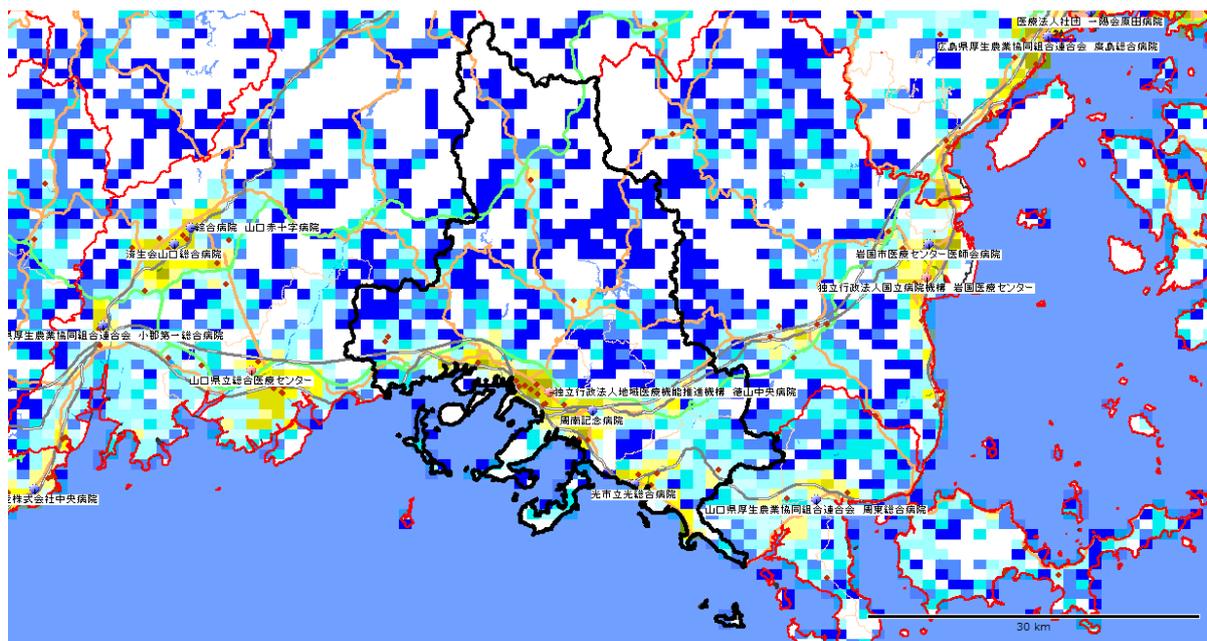
※各メッシュから分娩医療機関への所用運転時間の推計値を掲載した。(集計方法は補論参照のこと)



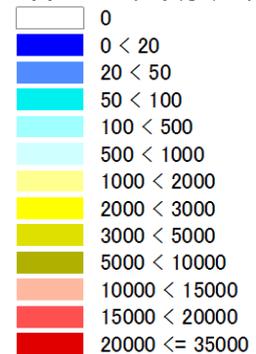
35-3. しゅうなん 周南医療圏

構成市区町村⁹ [下松市](#) [光市](#) [周南市](#)

人口分布¹ (1km²区画単位)



区画内人口(1平方キ口)



DPC病院



(周南医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

【地域の概要】

*人口、面積など： 周南(下松市)は、総人口約252千人(2015年)、面積838km²、人口密度は301人/km²の地方都市型二次医療圏である。

*人口の将来予測： 周南の総人口は2025年に234千人へと減少し(2015年比-7%)、2040年に202千人へと減少する(2025年比-14%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の36千人が、2025年にかけて49千人へと増加し(2015年比+36%)、2040年には43千人へと減少する(2025年比-12%)ことが予想される。

*医療費と介護給付費： 周南の一人当たり医療費(国保)は398千円(偏差値62)、介護給付費は228千円(偏差値43)であり、医療費は高いが、介護給付費は低い。

【医療の現状】

*入院医療の充実度： 周南の一人当たり急性期医療密度指数²は0.87、一人当たり慢性期医療密度指数²は2.35で、急性期の医療は全国平均レベルであるが、慢性期の医療はかなり余裕がある。

*医師・看護師の現状： 総医師数³の偏差値が45(病院医師数43、診療所医師数51)と、総医師数はほぼ全国平均レベルであるが、病院医師数は少ない。総看護師数の偏差値は53とやや多い。

*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は50で、一般病床数は全国平均レベルである。全身麻酔数の偏差値は47とやや少ない。周南には、年間全身麻酔件数が2000例以上のJCHO徳山中央病院(Ⅲ群・救命)がある。

*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は63と療養病床数は多い。

*リハビリの現状： 総療法士数は偏差値61と多く、回復期病床数は偏差値60と多い。

*精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は49で精神病床数は全国平均レベルである。

*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は53で診療所数はやや多い。

【介護施設や在宅ケアの現状】

*介護施設の現状： 周南の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、3258人(75歳以上1000人当たりの偏差値41)と全国平均レベルを下回る。そのうち、介護保険施設の定員が2100床(偏差値47)、高齢者住宅等が1158床(偏差値43)である。介護保険施設は全国平均レベルをやや下回り、高齢者住宅等は全国平均レベルを下回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、2844人(75歳以上1000人当たりの偏差値51)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルである。

施設別の75歳以上1000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設51、特別養護老人ホーム44、介護療養型医療施設53、有料老人ホーム39、軽費ホーム65、グループホーム52、サ高住45である。

*在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値40と少なく、在宅療養支援病院は偏差値60と多い。また、訪問看護ステーションは偏差値41と少ない。介護職員(在宅)の合計は、403人(75歳以上1000人当たりの偏差値45)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルをやや下回る。

*介護の2025年の需要予測： 2025年の介護充足度指数⁴は-38%であり、2025年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、多くの高齢者施設・住宅の増設、あるいは相当する在宅のインフラ整備が必要である。

(周南医療圏) 2. 推移と将来推計

【人口と医療需要】

周南医療圏の総人口は、2005年259867人が、2015年に252023人と3%減少し、2025年の人口が234369人と予測され、2005年→2025年の間に10%程度の減少が予測されている。

医療の需要(医療費ベース)は、2005年から2015年に10%増加し、2015年から2025年にかけて2%程度の増加が予測される。

【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

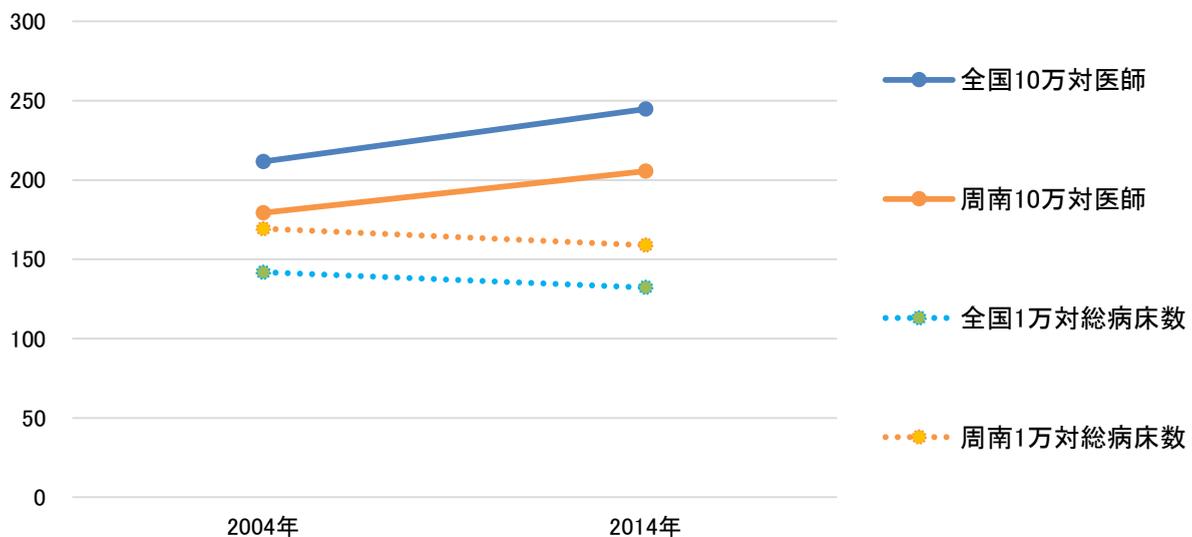
2004年の病院数が22(人口10万人当たり8.5病院(全国平均7.1)偏差値54)であったが、2014年に24(人口10万人当たり9.5病院(全国平均6.7)偏差値57)となり、10年間で2病院が増加した。

2004年の診療所数が228(人口10万人当たり88診療所(全国平均76)偏差値56)であったが、2014年に218(人口10万人当たり87診療所(全国平均79)偏差値54)と、10診療所が減少した。

2004年の総病床数が4399床(人口1万人当たり169(全国平均142)偏差値55)であったが、2014年に4005床(人口1万人当たり159(全国平均132)偏差値55)と、394床の減少、率にして9%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。

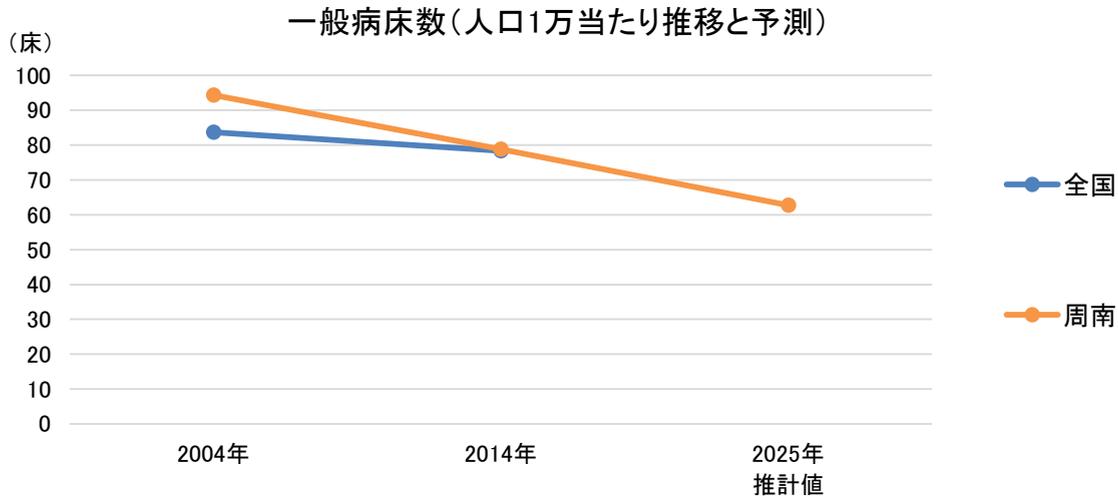
2004年には病院と診療所合わせての総医師数³が466人(人口10万人当たり179人(全国平均212人)偏差値46)であったが、2014年に518人(人口10万人当たり206人(全国平均245人)偏差値46)と、52人の増加、率にして11%の増加(全国平均15%の増加)が見られた。

2004→2014年 人口当たり医師数・病床数



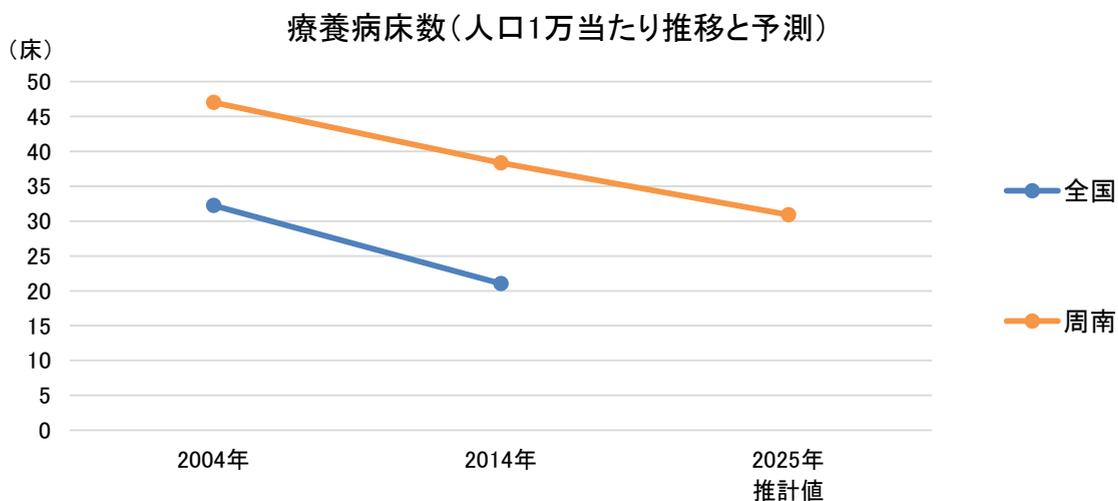
【一般病床の推移と今後の予測】

2004年の一般病床(病院+診療所)が2452床(人口1万人当たり94(全国平均84)偏差値54)であったが、2014年に1985床(人口1万人当たり79(全国平均78)偏差値50)と、467床の減少、率にして19%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には1471床(2025年の推計人口1万人当たり63)になることが予想される。



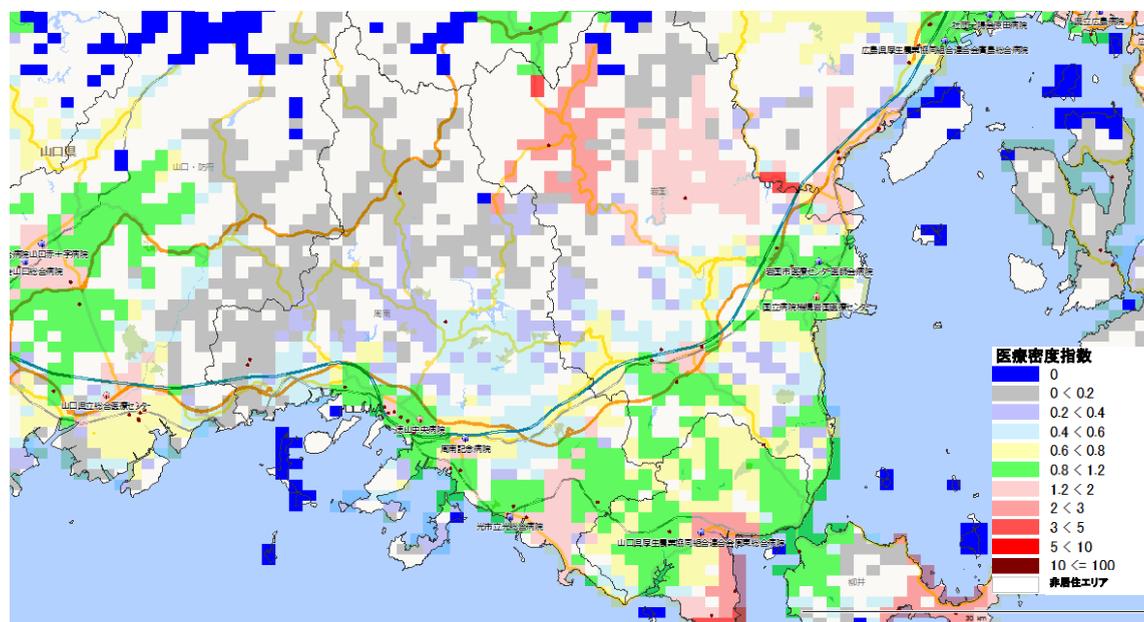
【療養病床の推移と今後の予測】

2004年の療養病床(病院+診療所)が1304床(75歳以上1000人当たり47(全国平均32)偏差値58)であったが、2014年に1399床(75歳以上1000人当たり38(全国平均21)偏差値65)と、95床の増加、率にして7%の増加(全国平均9%の減少)が見られた。この調子で増加が続くとすると2025年には1504床(2025年の推計75歳以上1000人当たり31)になることが予想される。



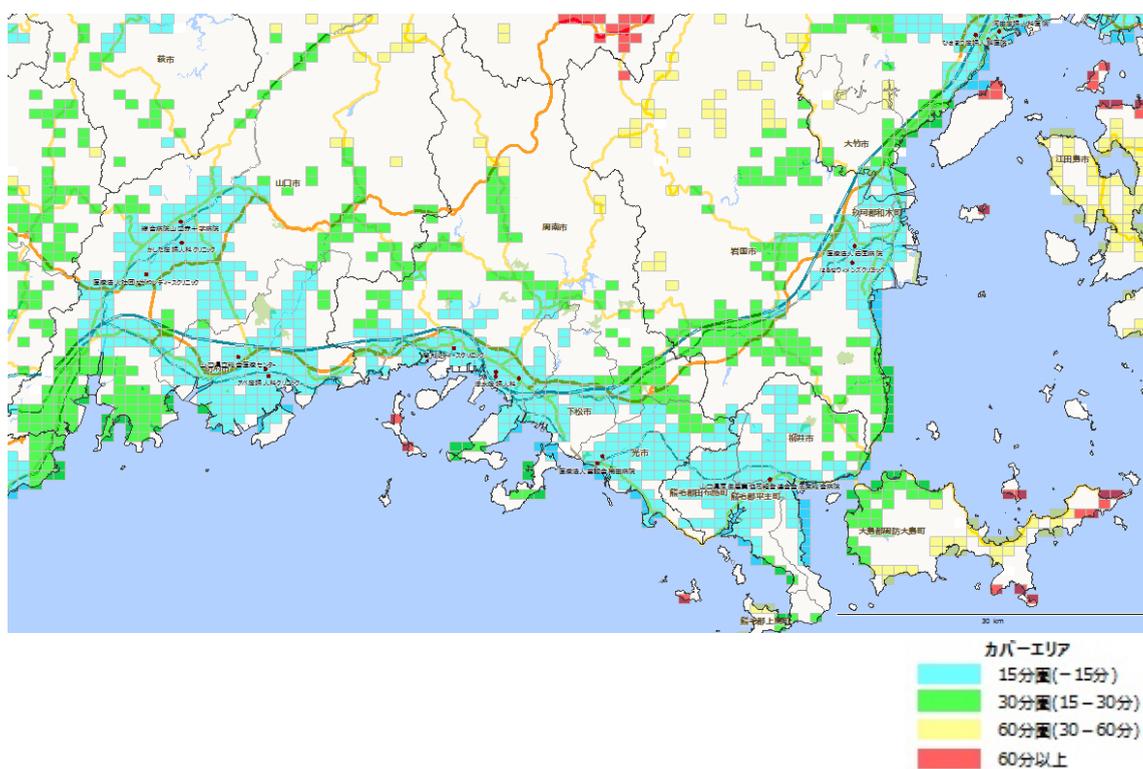
(周南医療圏) 3. 医療密度⁵・周産期カバーエリア

図表35-3-1 急性期医療密度指数マップ



図表35-3-2 分娩医療機関への所用運転時間(カバーエリア)

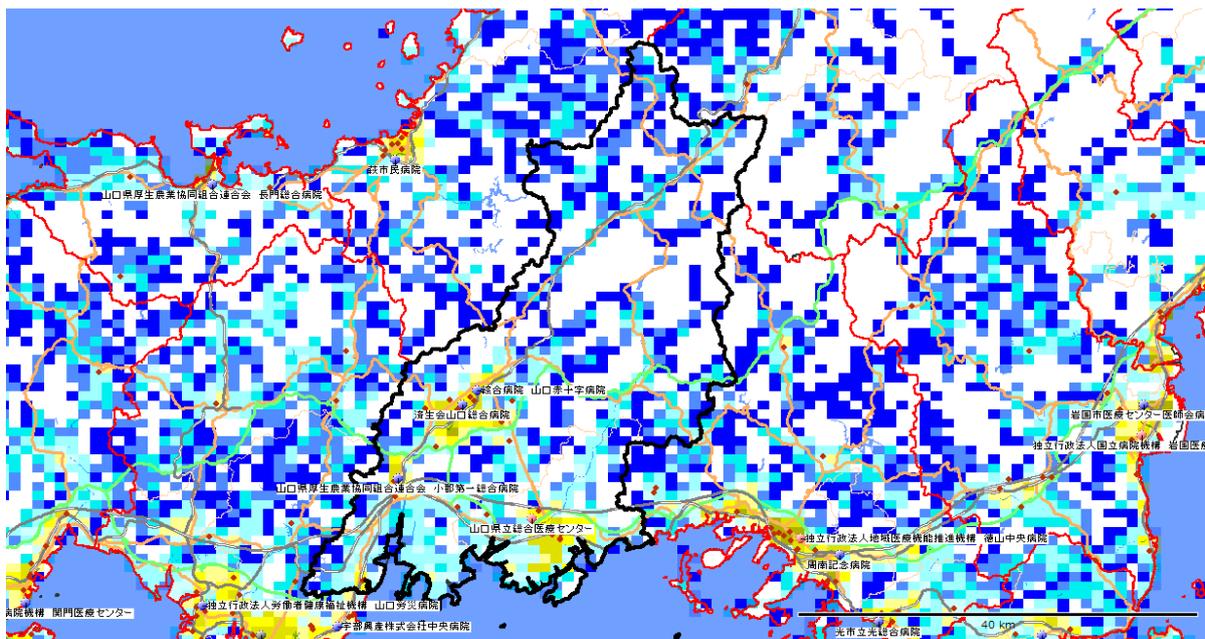
※各メッシュから分娩医療機関への所用運転時間の推計値を掲載した。(集計方法は補論参照のこと)



35-4. やまぐち ほうふ 山口・防府医療圏

構成市区町村⁹ [山口市](#) [防府市](#)

人口分布¹ (1km²区画単位)



区画内人口(1平方キロ)



DPC病院



(山口・防府医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

【地域の概要】

*人口、面積など： 山口・防府(山口市)は、総人口約313千人(2015年)、面積1213km²、人口密度は258人/km²の地方都市型二次医療圏である。

*人口の将来予測： 山口・防府の総人口は2025年に292千人へと減少し(2015年比-7%)、2040年に260千人へと減少する(2025年比-11%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の43千人が、2025年にかけて56千人へと増加し(2015年比+30%)、2040年には55千人へと減少する(2025年比-2%)ことが予想される。

*医療費と介護給付費： 山口・防府の一人当たり医療費(国保)は418千円(偏差値67)、介護給付費は256千円(偏差値51)であり、医療費は非常に高く、介護給付費は全国平均レベルである。

【医療の現状】

*入院医療の充実度： 山口・防府の一人当たり急性期医療密度指数²は1.24、一人当たり慢性期医療密度指数²は2.47で、急性期の医療も慢性期の医療も充実している。

*医師・看護師の現状： 総医師数³の偏差値が47(病院医師数46、診療所医師数50)と、総医師数、病院医師数、診療所医師数ともほぼ全国平均レベルである。総看護師数の偏差値は57と多い。

*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は49で、一般病床数は全国平均レベルである。全身麻酔数の偏差値は55とやや多い。山口・防府には、年間全身麻酔件数が2000例以上の山口県立総合医療センター(Ⅲ群・救命)、1000例以上の小郡第一総合病院(Ⅲ群)、山口赤十字病院(Ⅲ群)、済生会山口総合病院(Ⅲ群)がある。

*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は60と療養病床数は多い。

*リハビリの現状： 総療法士数は偏差値52と全国平均レベルであり、回復期病床数は偏差値44と少ない。

*精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は55で精神病床数はやや多い。

*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は51で診療所数は全国平均レベルである。

【介護施設や在宅ケアの現状】

*介護施設の現状： 山口・防府の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、4422人(75歳以上1000人当たりの偏差値49)と全国平均レベルである。そのうち、介護保険施設の定員が2756床(偏差値52)、高齢者住宅等が1666床(偏差値48)である。介護保険施設、高齢者住宅等ともに全国平均レベルである。また、介護職員(介護施設等)の合計は、3425人(75歳以上1000人当たりの偏差値52)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルである。

施設別の75歳以上1000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設56、特別養護老人ホーム47、介護療養型医療施設54、有料老人ホーム42、軽費ホーム49、グループホーム48、サ高住59である。

*在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値44と少なく、在宅療養支援病院は偏差値49と全国平均レベルである。また、訪問看護ステーションは偏差値60と多い。介護職員(在宅)の合計は、533人(75歳以上1000人当たりの偏差値47)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルをやや下回る。

*介護の2025年の需要予測： 2025年の介護充足度指数⁴は-28%であり、2025年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、高齢者施設・住宅の増設、あるいは相当する在宅のインフラ整備が必要である。

(山口・防府医療圏) 2. 推移と将来推計

【人口と医療需要】

山口・防府医療圏の総人口は、2005年316115人が、2015年に313364人と1%減少し、2025年の人口が291887人と予測され、2005年→2025年の間に8%程度の減少が予測されている。

医療の需要(医療費ベース)は、2005年から2015年に9%増加し、2015年から2025年にかけて3%程度の増加が予測される。

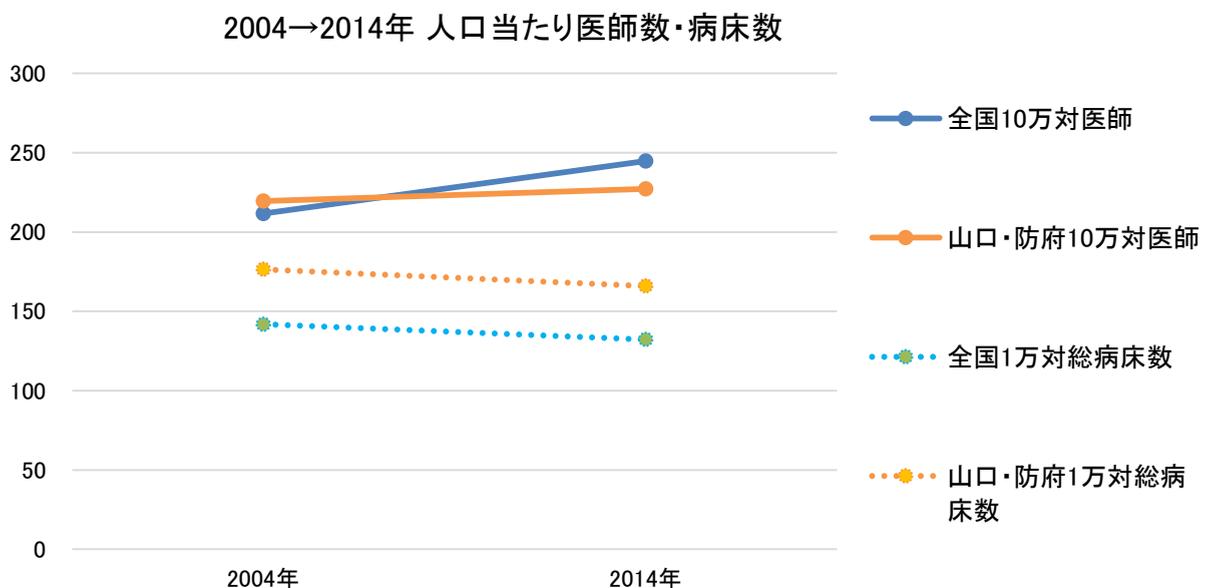
【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

2004年の病院数が27(人口10万人当たり8.5病院(全国平均7.1)偏差値54)であったが、2014年に27(人口10万人当たり8.6病院(全国平均6.7)偏差値55)となり、10年間で増減がなかった。

2004年の診療所数が265(人口10万人当たり84診療所(全国平均76)偏差値54)であったが、2014年に255(人口10万人当たり81診療所(全国平均79)偏差値51)と、10診療所が減少した。

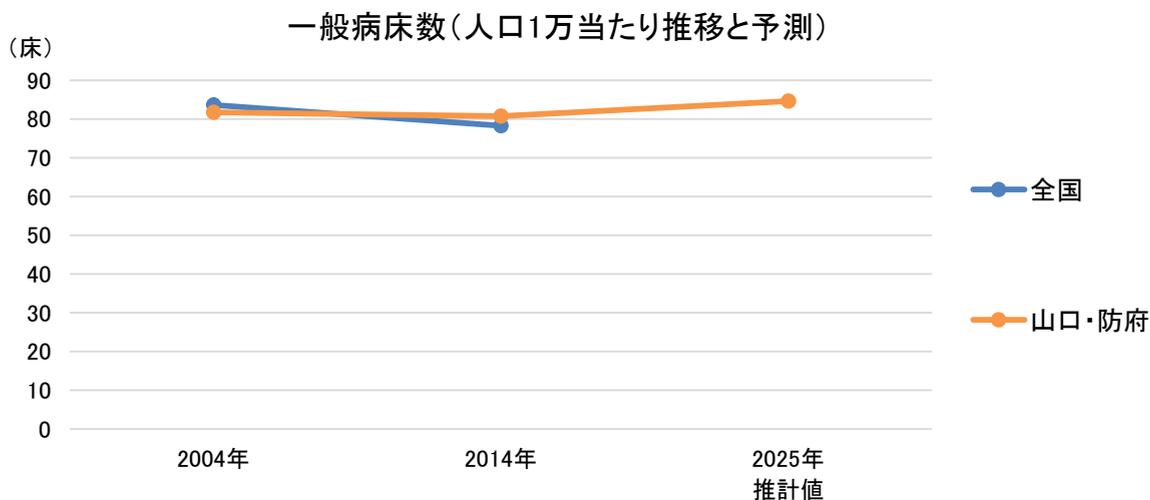
2004年の総病床数が5578床(人口1万人当たり176(全国平均142)偏差値56)であったが、2014年に5200床(人口1万人当たり166(全国平均132)偏差値56)と、378床の減少、率にして7%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。

2004年には病院と診療所合わせての総医師数³が694人(人口10万人当たり220人(全国平均212人)偏差値51)であったが、2014年に712人(人口10万人当たり227人(全国平均245人)偏差値48)と、18人の増加、率にして3%の増加(全国平均15%の増加)が見られた。



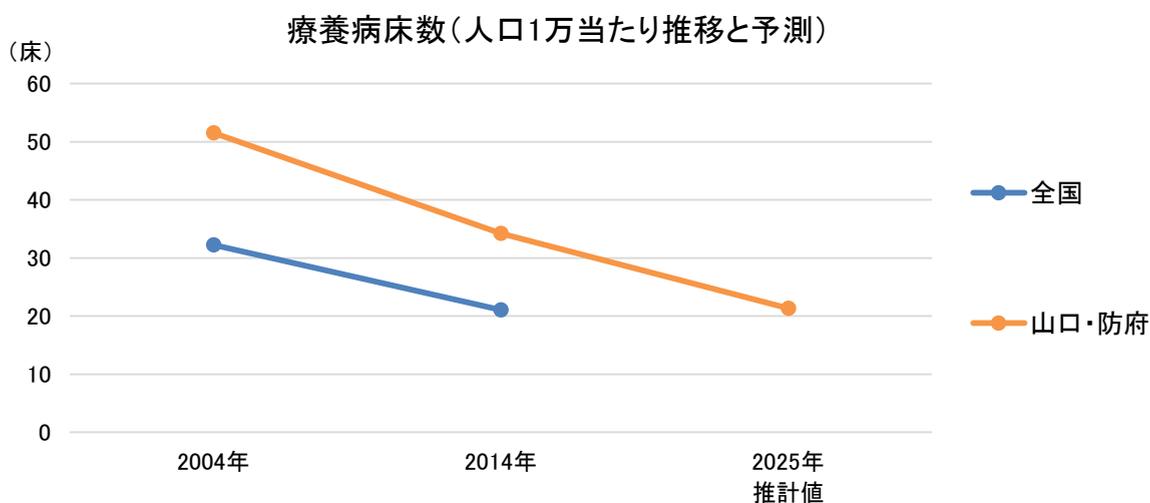
【一般病床の推移と今後の予測】

2004年の一般病床(病院+診療所)が2585床(人口1万人当たり82(全国平均84)偏差値49)であったが、2014年に2530床(人口1万人当たり81(全国平均78)偏差値51)と、55床の減少、率にして2%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には2470床(2025年の推計人口1万人当たり85)になることが予想される。



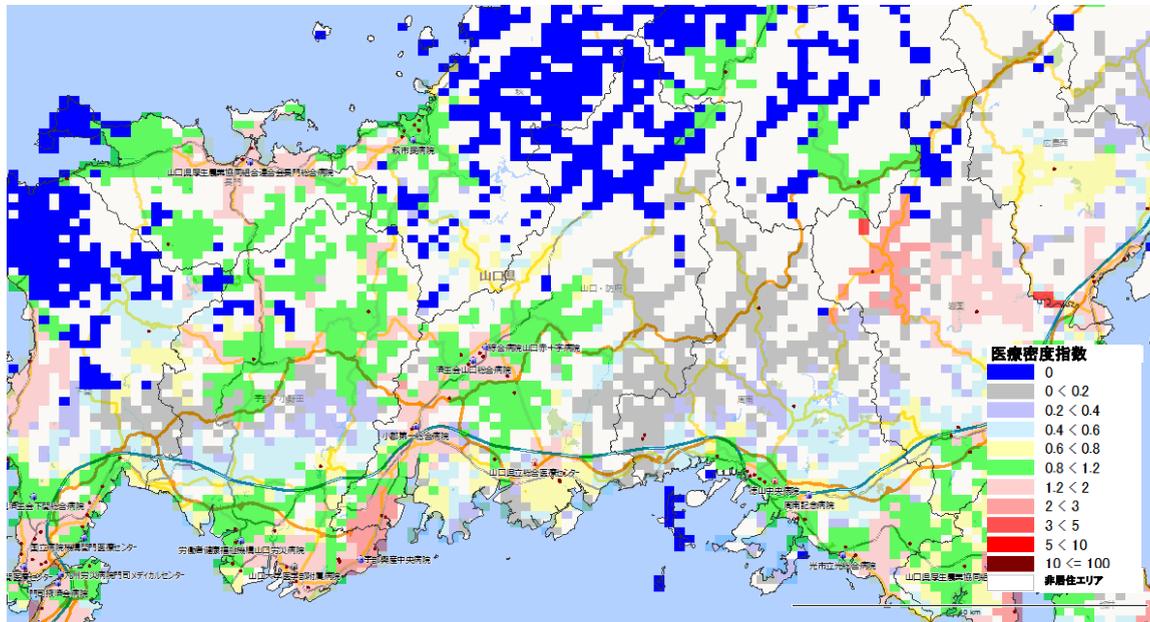
【療養病床の推移と今後の予測】

2004年の療養病床(病院+診療所)が1759床(75歳以上1000人当たり52(全国平均32)偏差値61)であったが、2014年に1485床(75歳以上1000人当たり34(全国平均21)偏差値61)と、274床の減少、率にして16%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には1184床(2025年の推計75歳以上1000人当たり21)になることが予想される。



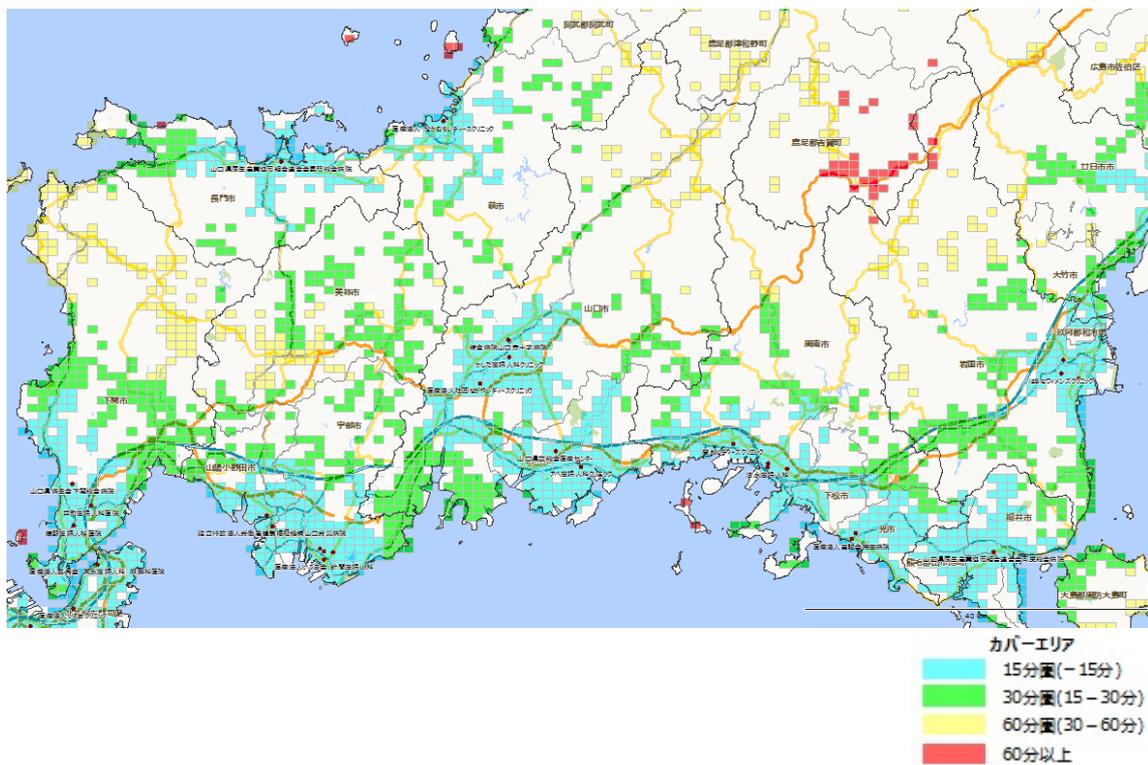
(山口・防府医療圏) 3. 医療密度⁵・周産期カバーエリア

図表35-4-1 急性期医療密度指数マップ



図表35-4-2 分娩医療機関への所用運転時間(カバーエリア)

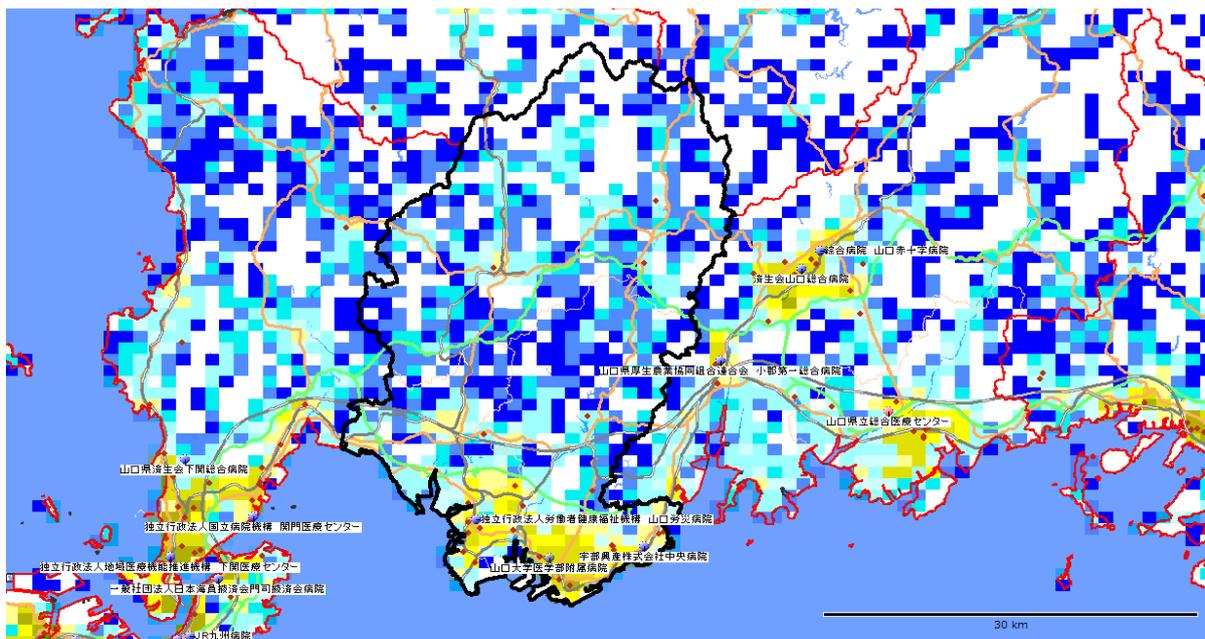
※各メッシュから分娩医療機関への所用運転時間の推計値を掲載した。(集計方法は補論参照のこと)



35-5. う べ お の だ 宇部・小野田医療圏

構成市区町村⁹ [宇部市](#) [美祢市](#) [山陽小野田市](#)

人口分布¹ (1km²区画単位)



(宇部・小野田医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

【地域の概要】

- *人口、面積など： 宇部・小野田(宇部市)は、総人口約258千人(2015年)、面積892km²、人口密度は289人/km²の地方都市型二次医療圏である。
- *人口の将来予測： 宇部・小野田の総人口は2025年に234千人へと減少し(2015年比-9%)、2040年に195千人へと減少する(2025年比-17%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の40千人が、2025年にかけて50千人へと増加し(2015年比+25%)、2040年には46千人へと減少する(2025年比-8%)ことが予想される。
- *医療費と介護給付費： 宇部・小野田の一人当たり医療費(国保)は446千円(偏差値73)、介護給付費は266千円(偏差値54)であり、医療費は非常に高く、介護給付費はやや高い。

【医療の現状】

- *入院医療の充実度： 宇部・小野田の一人当たり急性期医療密度指数²は1.26、一人当たり慢性期医療密度指数²は3.08で、急性期の医療も慢性期の医療も充実している。
- *医師・看護師の現状： 総医師数³の偏差値が62(病院医師数64、診療所医師数54)と、総医師数、病院医師数ともに多い。総看護師数の偏差値は71と非常に多い。
- *一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は63で、一般病床数は多い。全身麻酔数の偏差値は62と多い。宇部・小野田には、年間全身麻酔件数が2000例以上の山口大学医学部附属病院(I群・救命)、1000例以上の山口労災病院(Ⅲ群)、500例以上の宇部興産中央病院(Ⅲ群)がある。
- *療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は75と療養病床数は非常に多い。
- *リハビリの現状： 総療法士数は偏差値59と多く、回復期病床数は偏差値50と全国平均レベルである。
- *精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は66で精神病床数は非常に多い。
- *診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は58で診療所数は多い。

【介護施設や在宅ケアの現状】

- *介護施設の現状： 宇部・小野田の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、4342人(75歳以上1000人当たりの偏差値53)と全国平均レベルをやや上回る。そのうち、介護保険施設の定員が2442床(偏差値50)、高齢者住宅等が1900床(偏差値53)である。介護保険施設は全国平均レベルであるが、高齢者住宅等は全国平均レベルをやや上回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、3000人(75歳以上1000人当たりの偏差値49)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルである。

施設別の75歳以上1000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設45、特別養護老人ホーム47、介護療養型医療施設64、有料老人ホーム44、軽費ホーム64、グループホーム49、サ高住63である。

- *在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値51と全国平均レベルであり、在宅療養支援病院は偏差値58と多い。また、訪問看護ステーションは偏差値58と多い。介護職員(在宅)の合計は、433人(75歳以上1000人当たりの偏差値44)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを下回る。

- *介護の2025年の需要予測： 2025年の介護充足度指数⁴は-19%であり、2025年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、高齢者施設・住宅の増設、あるいは相当する在宅のインフラ整備が必要である。

(宇部・小野田医療圏) 2. 推移と将来推計

【人口と医療需要】

宇部・小野田医療圏の総人口は、2005年275055人が、2015年に258259人と6%減少し、2025年の人口が234351人と予測され、2005年→2025年の間に15%程度の減少が予測されている。

医療の需要(医療費ベース)は、2005年から2015年に5%増加し、2015年から2025年にかけてほぼ増減なしと予測される。

【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

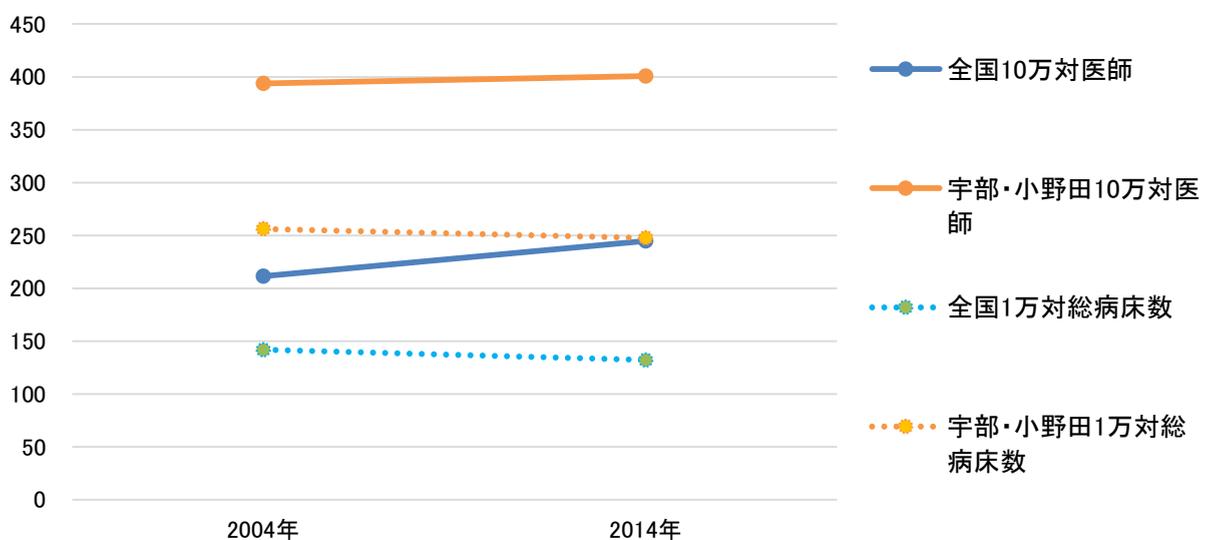
2004年の病院数が31(人口10万人当たり11.3病院(全国平均7.1)偏差値61)であったが、2014年に30(人口10万人当たり11.6病院(全国平均6.7)偏差値62)となり、10年間で1病院が減少した。

2004年の診療所数が250(人口10万人当たり91診療所(全国平均76)偏差値57)であったが、2014年に246(人口10万人当たり95診療所(全国平均79)偏差値59)と、4診療所が減少した。

2004年の総病床数が7049床(人口1万人当たり256(全国平均142)偏差値70)であったが、2014年に6399床(人口1万人当たり248(全国平均132)偏差値70)と、650床の減少、率にして9%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。

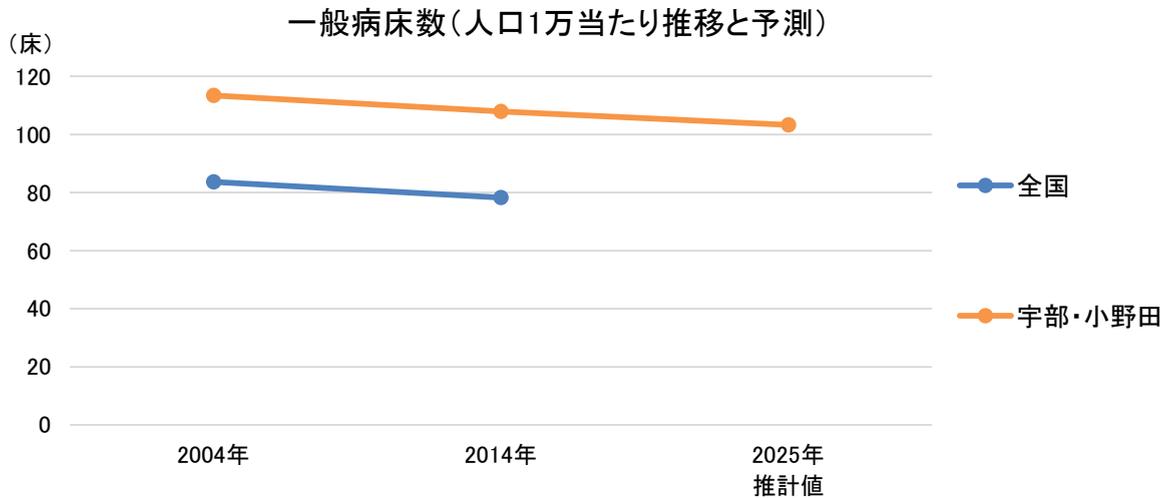
2004年には病院と診療所合わせての総医師数³が1083人(人口10万人当たり394人(全国平均212人)偏差値72)であったが、2014年に1035人(人口10万人当たり401人(全国平均245人)偏差値67)と、48人の減少、率にして4%の減少(全国平均15%の増加)が見られた。

2004→2014年 人口当たり医師数・病床数



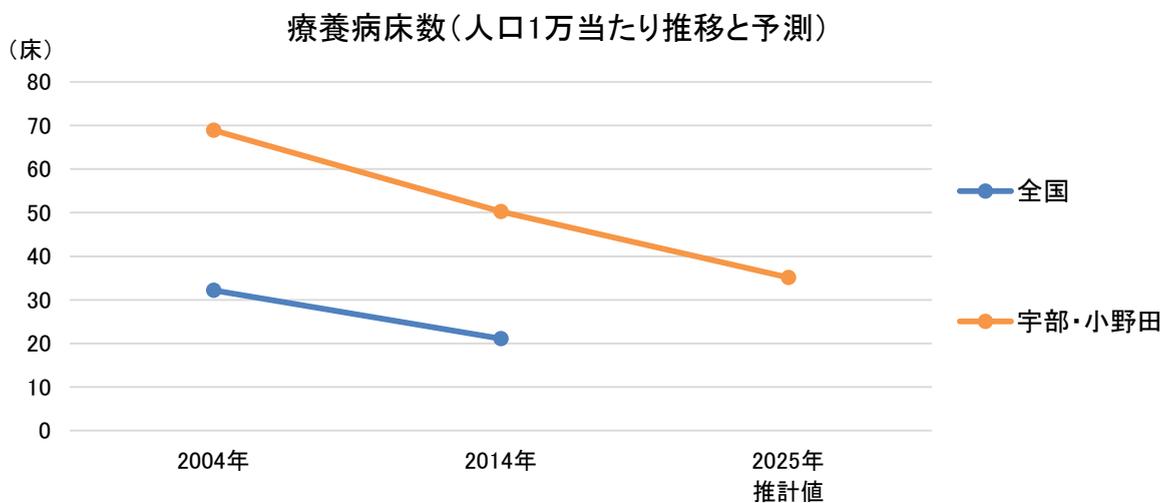
【一般病床の推移と今後の予測】

2004年の一般病床(病院+診療所)が3120床(人口1万人当たり113(全国平均84)偏差値61)であったが、2014年に2787床(人口1万人当たり108(全国平均78)偏差値61)と、333床の減少、率にして11%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には2421床(2025年の推計人口1万人当たり103)になることが予想される。



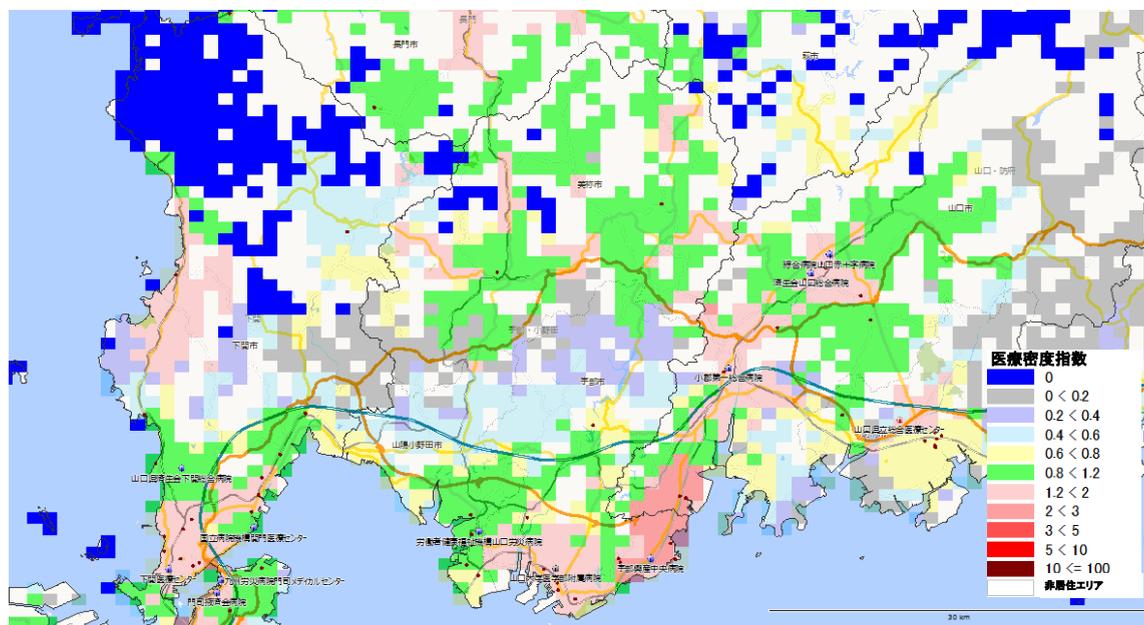
【療養病床の推移と今後の予測】

2004年の療養病床(病院+診療所)が2240床(75歳以上1000人当たり69(全国平均32)偏差値71)であったが、2014年に2013床(75歳以上1000人当たり50(全国平均21)偏差値75)と、227床の減少、率にして10%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には1763床(2025年の推計75歳以上1000人当たり35)になることが予想される。



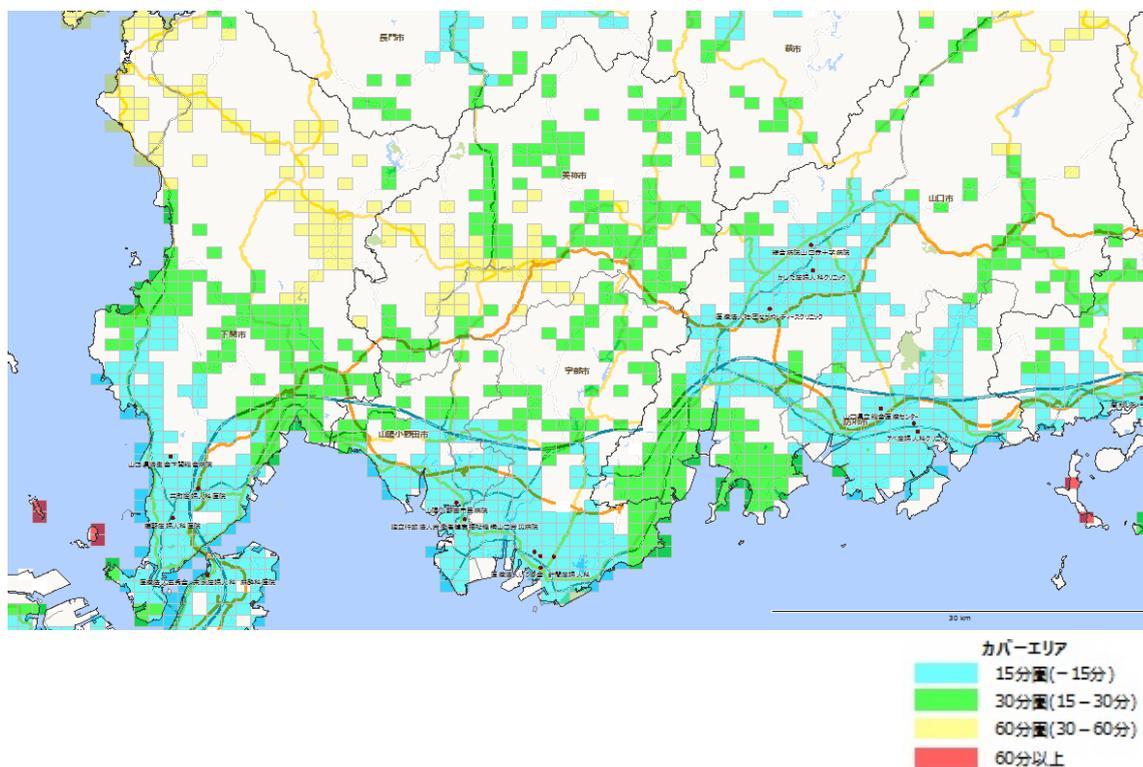
(宇部・小野田医療圏) 3. 医療密度⁵・周産期カバーエリア

図表35-5-1 急性期医療密度指数マップ



図表35-5-2 分娩医療機関への所用運転時間 (カバーエリア)

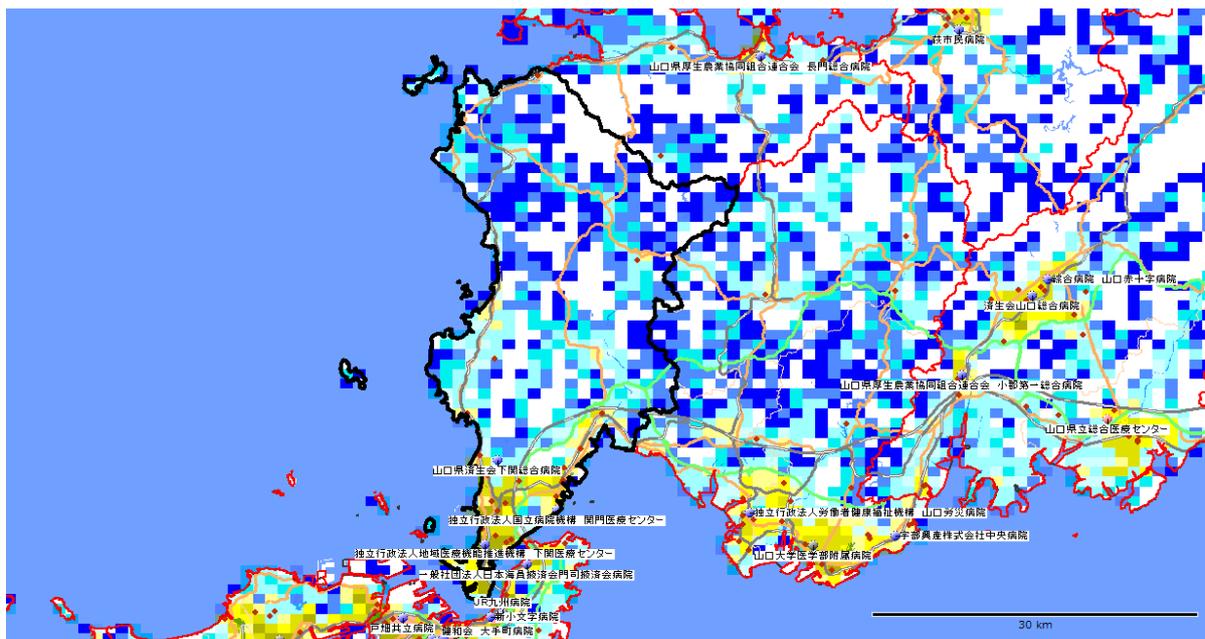
※各メッシュから分娩医療機関への所用運転時間の推計値を掲載した。(集計方法は補論参照のこと)



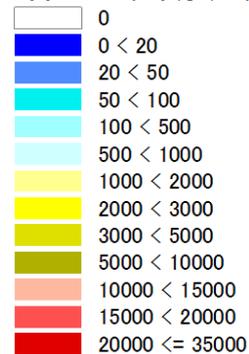
35-6. しものせき 下関医療圏

構成市区町村⁹ [下関市](#)

人口分布¹ (1km²区画単位)



区画内人口(1平方キロ)



DPC病院



(下関医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

【地域の概要】

*人口、面積など： 下関(下関市)は、総人口約269千人(2015年)、面積716km²、人口密度は375人/km²の地方都市型二次医療圏である。

*人口の将来予測： 下関の総人口は2025年に242千人へと減少し(2015年比-10%)、2040年に197千人へと減少する(2025年比-19%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の45千人が、2025年にかけて54千人へと増加し(2015年比+20%)、2040年には48千人へと減少する(2025年比-11%)ことが予想される。

*医療費と介護給付費： 下関の一人当たり医療費(国保)は444千円(偏差値73)、介護給付費は252千円(偏差値50)であり、医療費は非常に高く、介護給付費は全国平均レベルである。

【医療の現状】

*入院医療の充実度： 下関の一人当たり急性期医療密度指数²は1.22、一人当たり慢性期医療密度指数²は2.94で、急性期の医療も慢性期の医療も充実している。

*医師・看護師の現状： 総医師数³の偏差値が53(病院医師数51、診療所医師数57)と、総医師数はほぼ全国平均レベルであるが、診療所医師数は多い。総看護師数の偏差値は68と非常に多い。

*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は55で、一般病床数はやや多い。全身麻酔数の偏差値は56と多い。下関には、年間全身麻酔件数が1000例以上の下関市立市民病院(Ⅲ群)、国立病院機構関門医療センター(Ⅲ群・救命)、済生会下関総合病院(Ⅲ群)、500例以上のJCHO下関医療センター(Ⅲ群)がある。

*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は79と療養病床数は非常に多い。

*リハビリの現状： 総療法士数は偏差値72と非常に多く、回復期病床数は偏差値64と多い。

*精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は57で精神病床数は多い。

*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は63で診療所数は多い。

【介護施設や在宅ケアの現状】

*介護施設の現状： 下関の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、3942人(75歳以上1000人当たりの偏差値41)と全国平均レベルを下回る。そのうち、介護保険施設の定員が2709床(偏差値49)、高齢者住宅等が1233床(偏差値41)である。介護保険施設は全国平均レベルであるが、高齢者住宅等は全国平均レベルを下回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、3127人(75歳以上1000人当たりの偏差値44)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを下回る。

施設別の75歳以上1000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設41、特別養護老人ホーム45、介護療養型医療施設71、有料老人ホーム42、軽費ホームなし(偏差値43)、グループホーム43、サ高住50である。

*在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値45とやや少なく、在宅療養支援病院は偏差値42と少ない。また、訪問看護ステーションは偏差値47とやや少ない。介護職員(在宅)の合計は、536人(75歳以上1000人当たりの偏差値47)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルをやや下回る。

*介護の2025年の需要予測： 2025年の介護充足度指数⁴は-34%であり、2025年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、多くの高齢者施設・住宅の増設、あるいは相当する在宅のインフラ整備が必要である。

(下関医療圏) 2. 推移と将来推計

【人口と医療需要】

下関医療圏の総人口は、2005年290693人が、2015年に268517人と8%減少し、2025年の人口が241519人と予測され、2005年→2025年の間に17%程度の減少が予測されている。

医療の需要(医療費ベース)は、2005年から2015年に5%増加し、2015年から2025年にかけて1%程度の減少が予測される。

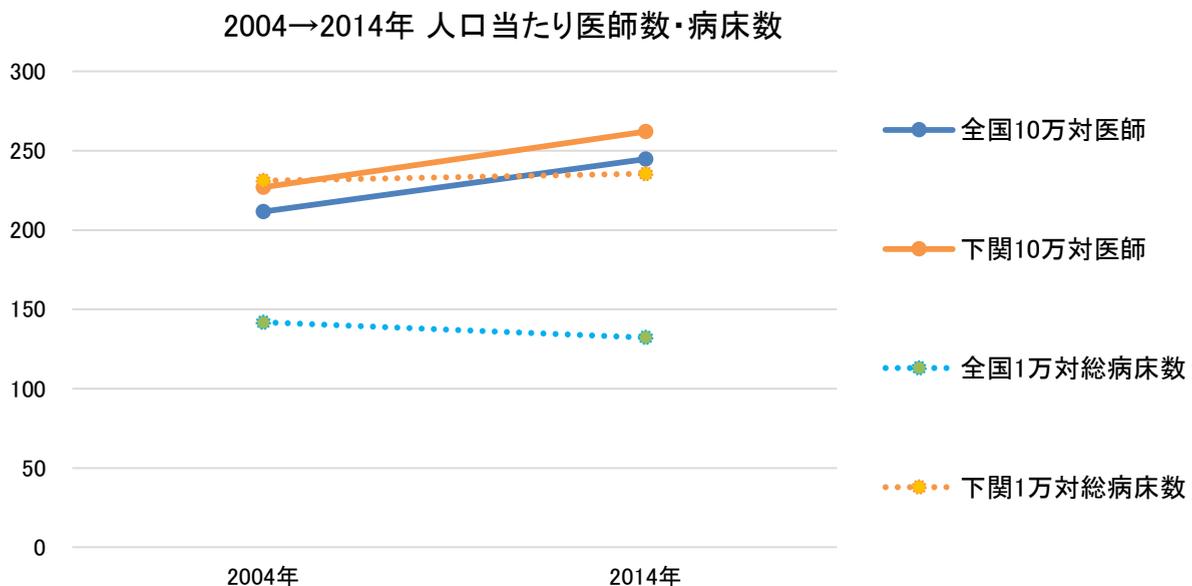
【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

2004年の病院数が31(人口10万人当たり10.7病院(全国平均7.1)偏差値59)であったが、2014年に27(人口10万人当たり10.1病院(全国平均6.7)偏差値58)となり、10年間で4病院が減少した。

2004年の診療所数が273(人口10万人当たり94診療所(全国平均76)偏差値59)であったが、2014年に273(人口10万人当たり102診療所(全国平均79)偏差値62)と、増減がなかった。

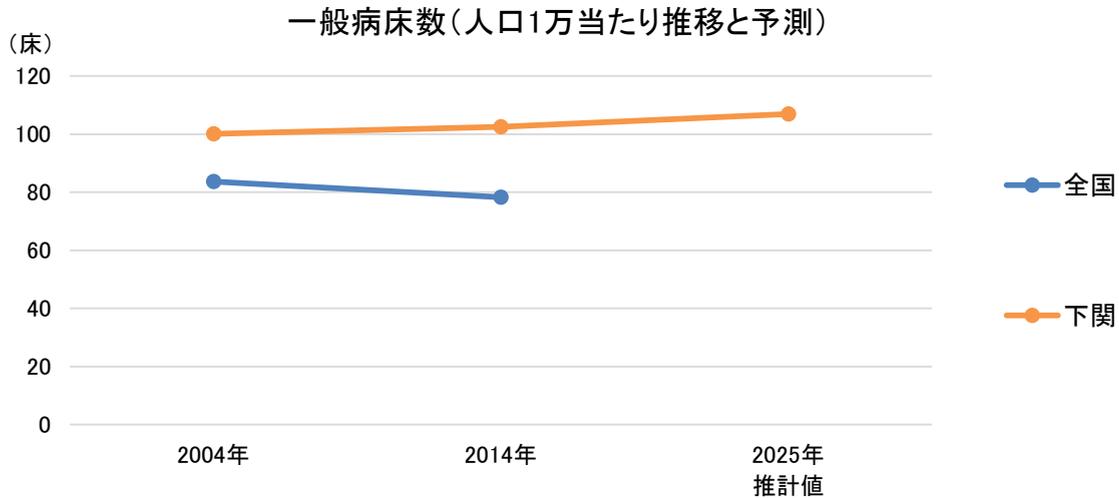
2004年の総病床数が6719床(人口1万人当たり231(全国平均142)偏差値66)であったが、2014年に6323床(人口1万人当たり235(全国平均132)偏差値68)と、396床の減少、率にして6%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。

2004年には病院と診療所合わせての総医師数³が660人(人口10万人当たり227人(全国平均212人)偏差値52)であったが、2014年に704人(人口10万人当たり262人(全国平均245人)偏差値52)と、44人の増加、率にして7%の増加(全国平均15%の増加)が見られた。



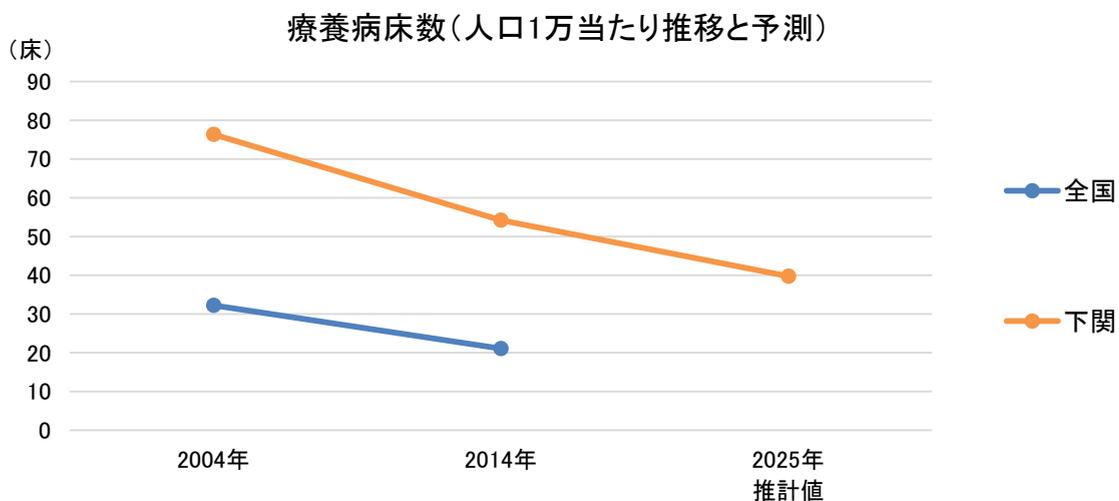
【一般病床の推移と今後の予測】

2004年の一般病床(病院+診療所)が2909床(人口1万人当たり100(全国平均84)偏差値56)であったが、2014年に2753床(人口1万人当たり103(全国平均78)偏差値59)と、156床の減少、率にして5%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には2581床(2025年の推計人口1万人当たり107)になることが予想される。



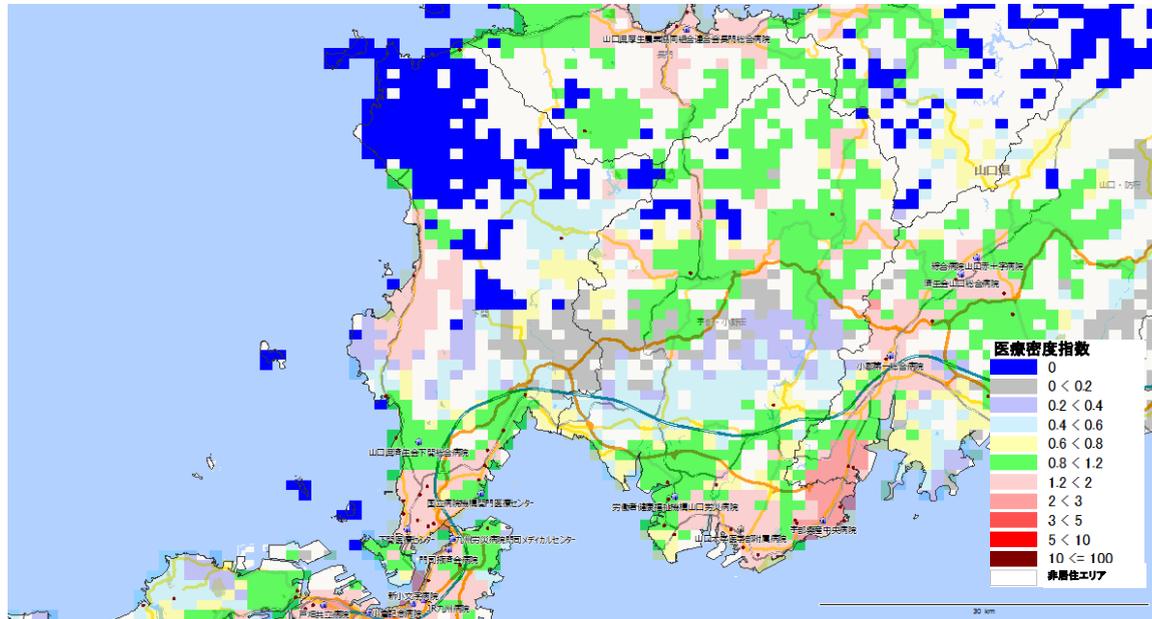
【療養病床の推移と今後の予測】

2004年の療養病床(病院+診療所)が2663床(75歳以上1000人当たり76(全国平均32)偏差値75)であったが、2014年に2424床(75歳以上1000人当たり54(全国平均21)偏差値78)と、239床の減少、率にして9%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には2161床(2025年の推計75歳以上1000人当たり40)になることが予想される。



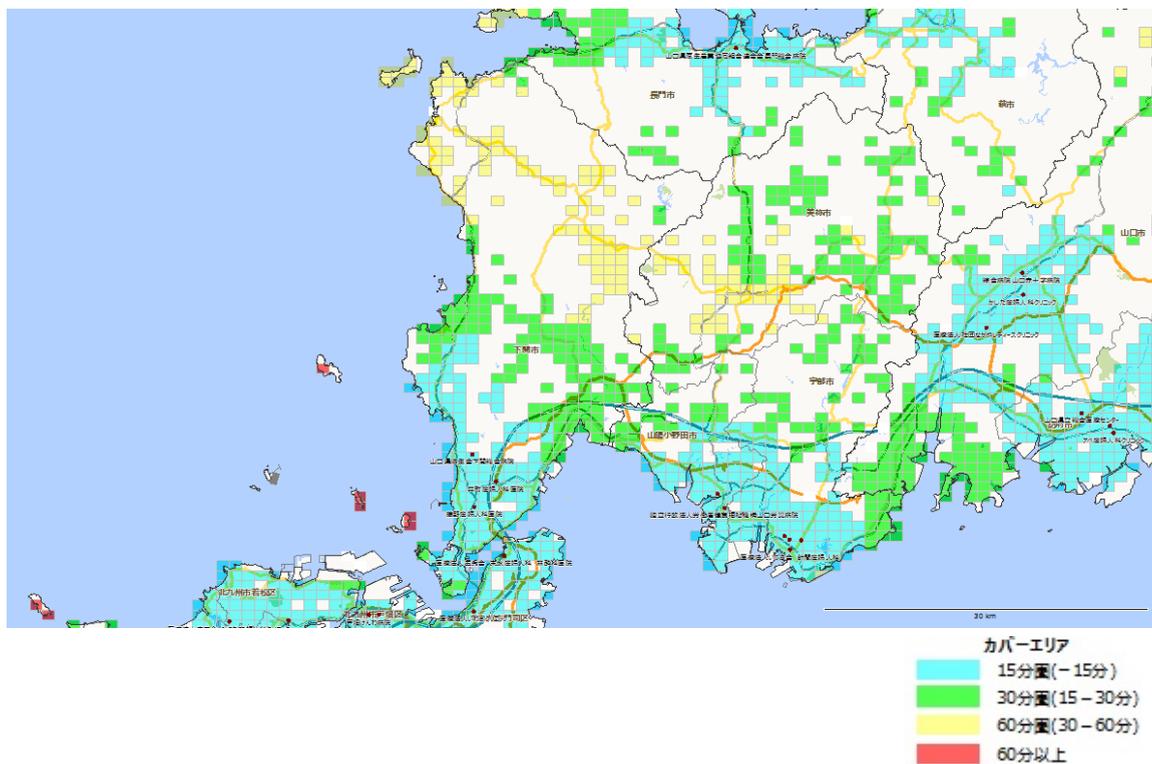
(下関医療圏) 3. 医療密度⁵・周産期カバーエリア

図表35-6-1 急性期医療密度指数マップ



図表35-6-2 分娩医療機関への所用運転時間(カバーエリア)

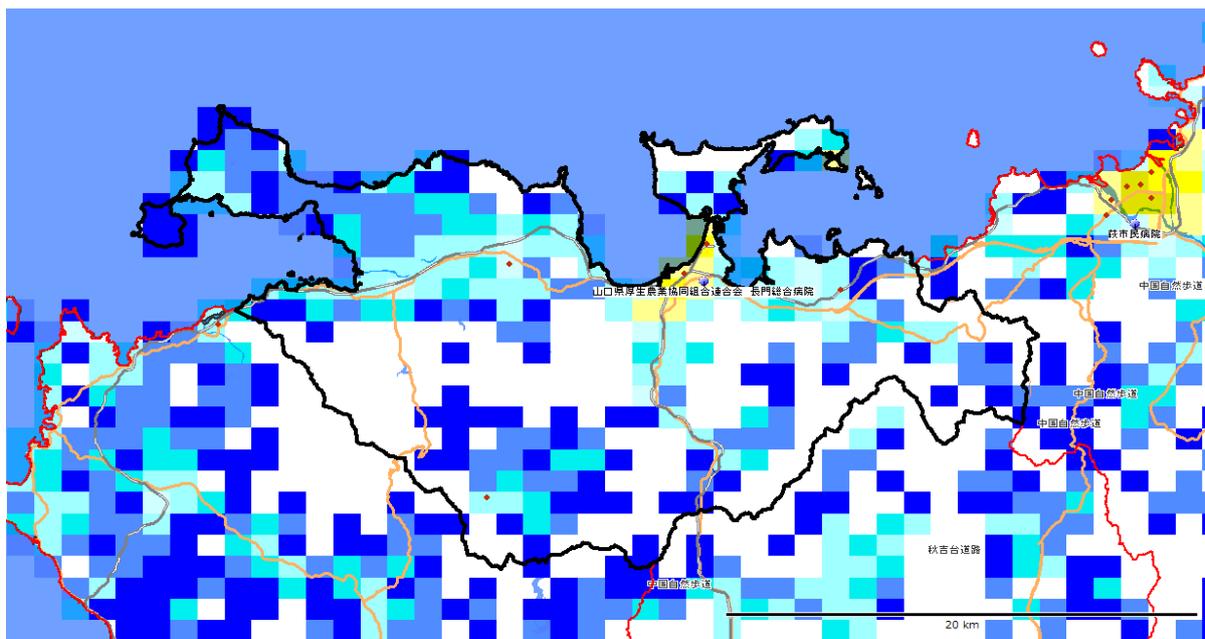
※各メッシュから分娩医療機関への所用運転時間の推計値を掲載した。(集計方法は補論参照のこと)



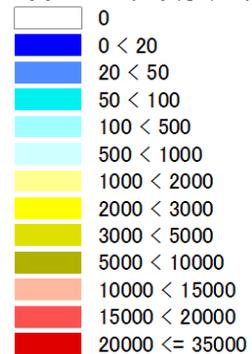
35-7. ながと 長門医療圏

構成市区町村⁹ [長門市](#)

人口分布¹ (1km²区画単位)



区画内人口(1平方キロ)



DPC病院



(長門医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

【地域の概要】

*人口、面積など： 長門(長門市)は、総人口約35千人(2015年)、面積357km²、人口密度は99人/km²の過疎地域型二次医療圏である。

*人口の将来予測： 長門の総人口は2025年に30千人へと減少し(2015年比-14%)、2040年に22千人へと減少する(2025年比-27%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の8千人が、2025年にかけて8千人とほぼ変わらず(2015年比±0%)、2040年には7千人へと減少する(2025年比-13%)ことが予想される。

*医療費と介護給付費： 長門の一人当たり医療費(国保)は447千円(偏差値73)、介護給付費は233千円(偏差値44)であり、医療費は非常に高いが、介護給付費は低い。

【医療の現状】

*入院医療の充実度： 長門の一人当たり急性期医療密度指数²は0.93、一人当たり慢性期医療密度指数²は3.3で、急性期の医療は全国平均レベルであるが、慢性期の医療はかなり余裕がある。

*医師・看護師の現状： 総医師数³の偏差値が47(病院医師数51、診療所医師数40)と、総医師数はほぼ全国平均レベルであるが、診療所医師数は少ない。総看護師数の偏差値は67と非常に多い。

*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は64で、一般病床数は多い。全身麻酔数の偏差値は43と少ない。長門には、年間全身麻酔件数が500例以上の病院はない。

*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は70と療養病床数は非常に多い。

*リハビリの現状： 総療法士数は偏差値61と多く、回復期病床数は0である。

*精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は79で精神病床数は非常に多い。

*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は48で診療所数は全国平均レベルである。

【介護施設や在宅ケアの現状】

*介護施設の現状： 長門の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、692人(75歳以上1000人当たりの偏差値42)と全国平均レベルを下回る。そのうち、介護保険施設の定員が520床(偏差値55)、高齢者住宅等が172床(偏差値38)である。介護保険施設は全国平均レベルをやや上回るが、高齢者住宅等は全国平均レベルを下回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、528人(75歳以上1000人当たりの偏差値44)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを下回る。

施設別の75歳以上1000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設52、特別養護老人ホーム60、介護療養型医療施設なし(偏差値40)、有料老人ホームなし(偏差値37)、軽費ホームなし(偏差値43)、グループホーム43、サ高住50である。

*在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値37と少なく、在宅療養支援病院は存在しない。また、訪問看護ステーションは偏差値44と少ない。介護職員(在宅)の合計は、56人(75歳以上1000人当たりの偏差値38)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを下回る。

*介護の2025年の需要予測： 2025年の介護充足度指数⁴は-6%であり、2025年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、現在の高齢者施設・住宅数でほぼ対応可能である。

(長門医療圏) 2. 推移と将来推計

【人口と医療需要】

長門医療圏の総人口は、2005年41127人が、2015年に35439人と14%減少し、2025年の人口が29893人と予測され、2005年→2025年の間に27%程度の減少が予測されている。

医療の需要(医療費ベース)は、2005年から2015年に2%減少し、2015年から2025年にかけて7%程度の減少が予測される。

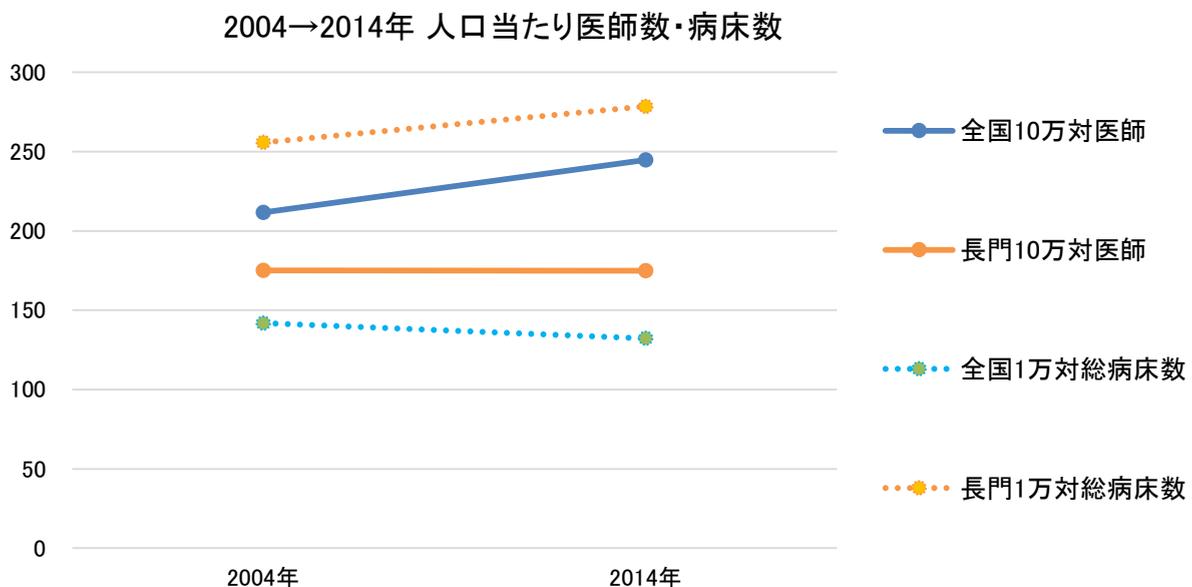
【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

2004年の病院数が6(人口10万人当たり14.6病院(全国平均7.1)偏差値69)であったが、2014年に6(人口10万人当たり16.9病院(全国平均6.7)偏差値75)となり、10年間で増減がなかった。

2004年の診療所数が29(人口10万人当たり71診療所(全国平均76)偏差値47)であったが、2014年に27(人口10万人当たり76診療所(全国平均79)偏差値48)と、2診療所が減少した。

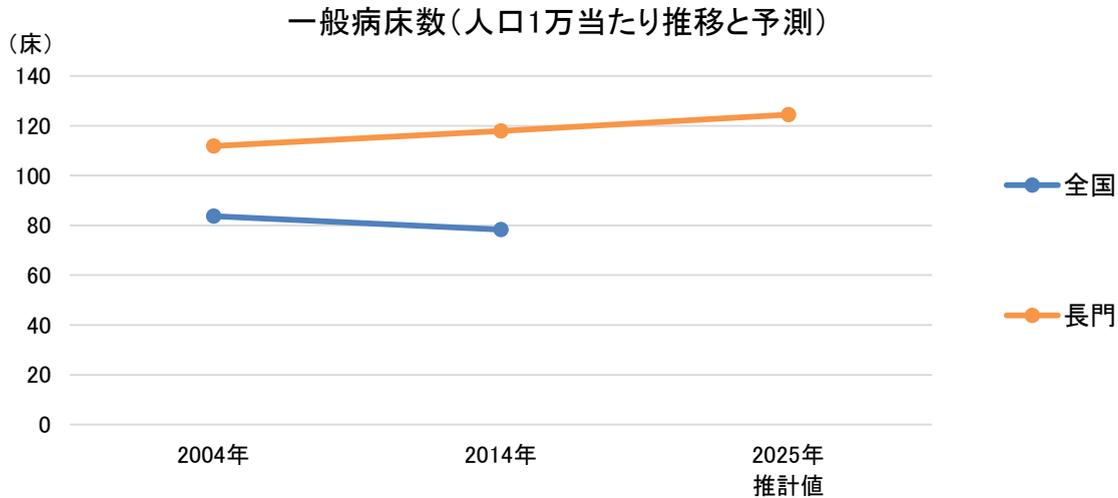
2004年の総病床数が1052床(人口1万人当たり256(全国平均142)偏差値70)であったが、2014年に987床(人口1万人当たり279(全国平均132)偏差値76)と、65床の減少、率にして6%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。

2004年には病院と診療所合わせての総医師数³が72人(人口10万人当たり175人(全国平均212人)偏差値46)であったが、2014年に62人(人口10万人当たり175人(全国平均245人)偏差値43)と、10人の減少、率にして14%の減少(全国平均15%の増加)が見られた。



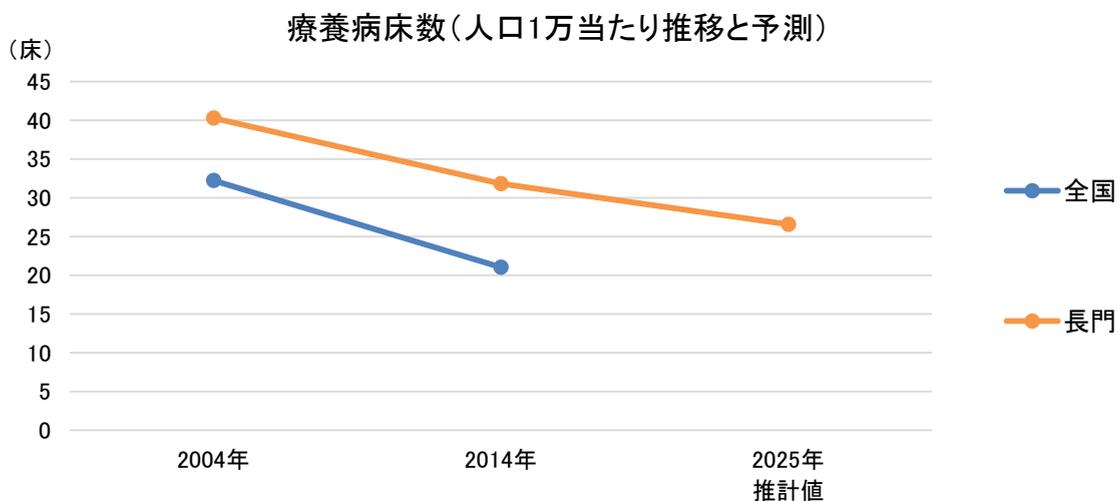
【一般病床の推移と今後の予測】

2004年の一般病床(病院+診療所)が460床(人口1万人当たり112(全国平均84)偏差値60)であったが、2014年に418床(人口1万人当たり118(全国平均78)偏差値65)と、42床の減少、率にして9%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には372床(2025年の推計人口1万人当たり124)になることが予想される。



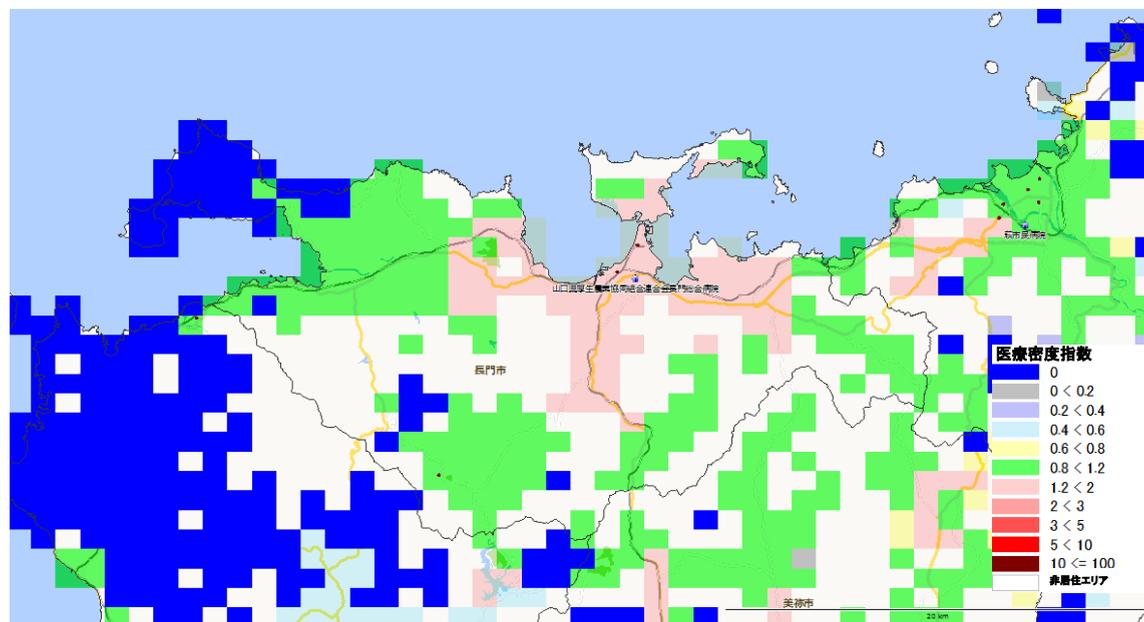
【療養病床の推移と今後の予測】

2004年の療養病床(病院+診療所)が266床(75歳以上1000人当たり40(全国平均32)偏差値55)であったが、2014年に243床(75歳以上1000人当たり32(全国平均21)偏差値59)と、23床の減少、率にして9%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には218床(2025年の推計75歳以上1000人当たり27)になることが予想される。



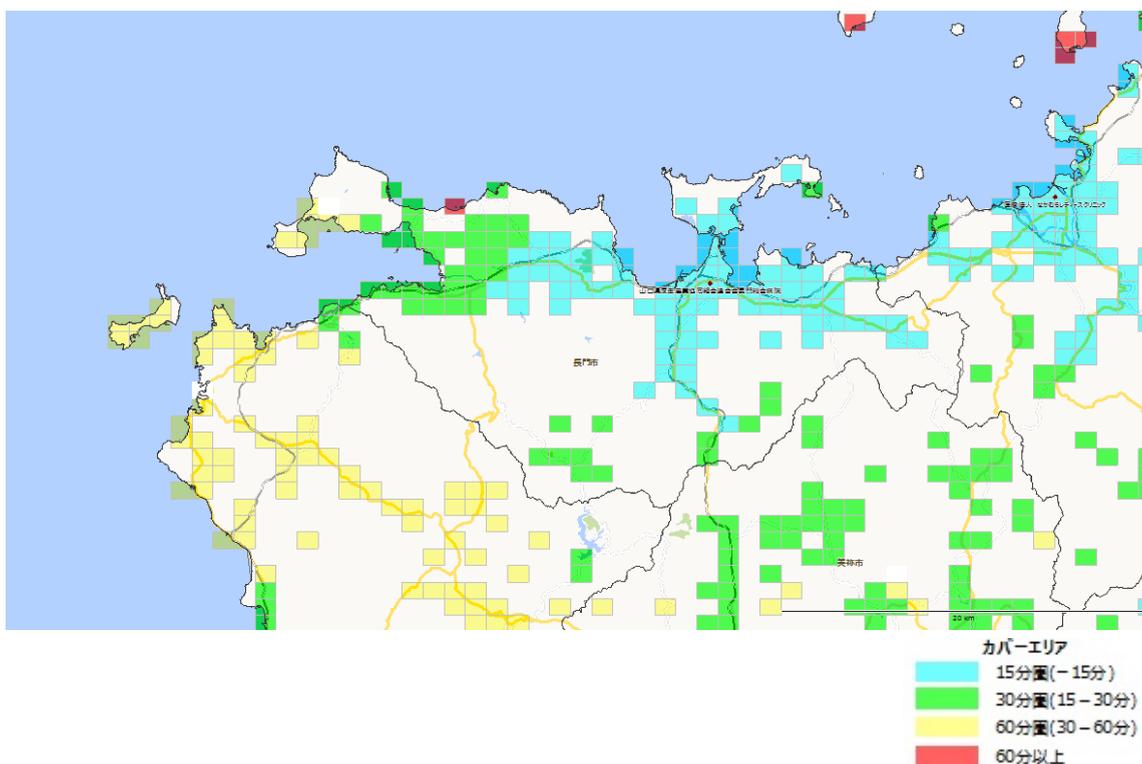
(長門医療圏) 3. 医療密度⁵・周産期カバーエリア

図表35-7-1 急性期医療密度指数マップ



図表35-7-2 分娩医療機関への所用運転時間(カバーエリア)

※各メッシュから分娩医療機関への所用運転時間の推計値を掲載した。(集計方法は補論参照のこと)

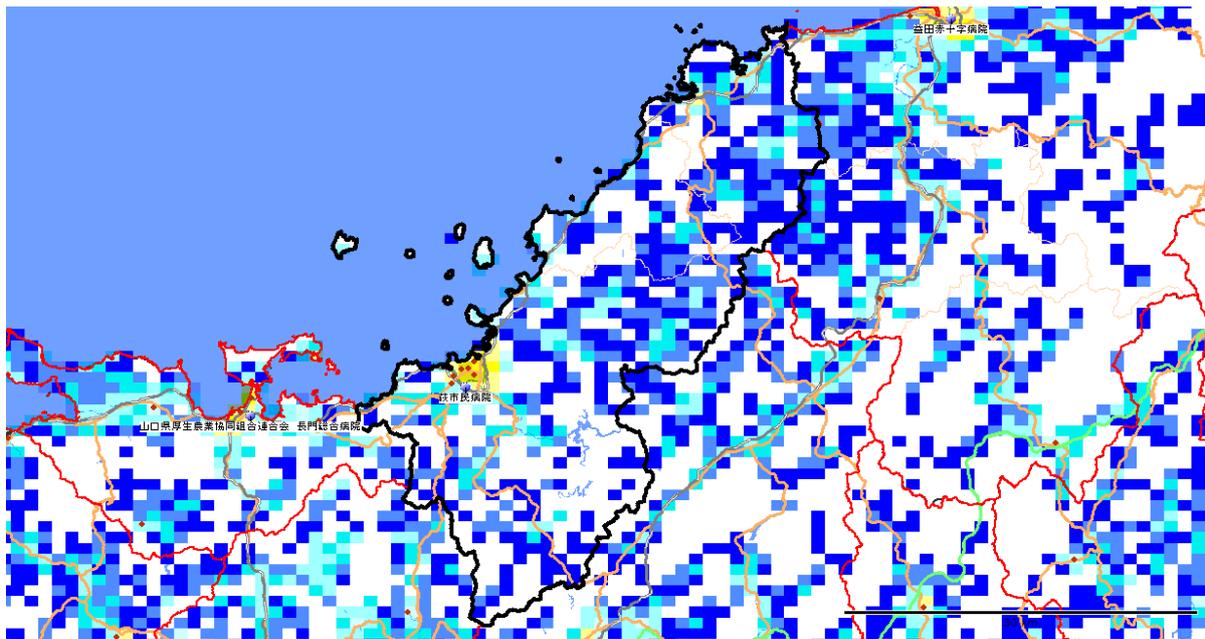


35-8. はぎ萩医療圏

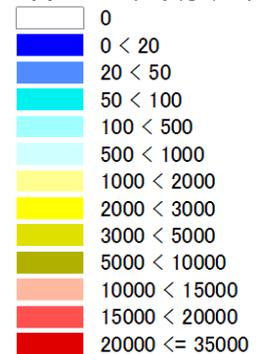
構成市区町村⁹ [萩市](#)

[阿武町](#)

人口分布¹ (1km²区画単位)



区画内人口(1平方キロ)



DPG病院



(萩医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

【地域の概要】

*人口、面積など： 萩(萩市)は、総人口約53千人(2015年)、面積814km²、人口密度は65人/km²の過疎地域型二次医療圏である。

*人口の将来予測： 萩の総人口は2025年に44千人へと減少し(2015年比-17%)、2040年に32千人へと減少する(2025年比-27%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の12千人が、2025年にかけて13千人へと増加し(2015年比+8%)、2040年には10千人へと減少する(2025年比-23%)ことが予想される。

*医療費と介護給付費： 萩の一人当たり医療費(国保)は417千円(偏差値67)、介護給付費は268千円(偏差値54)であり、医療費は非常に高く、介護給付費はやや高い。

【医療の現状】

*入院医療の充実度： 萩の一人当たり急性期医療密度指数²は0.58、一人当たり慢性期医療密度指数²は2.39で、急性期の医療はかなり少ないが、慢性期の医療はかなり余裕がある。

*医師・看護師の現状： 総医師数³の偏差値が45(病院医師数42、診療所医師数51)と、総医師数はほぼ全国平均レベルであるが、病院医師数は少ない。総看護師数の偏差値は61と多い。

*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は47で、一般病床数はやや少ない。全身麻酔数の偏差値は44と少ない。萩には、年間全身麻酔件数が500例以上の病院はない。

*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は85と療養病床数は非常に多い。

*リハビリの現状： 総療法士数は偏差値45とやや少なく、回復期病床数は0である。

*精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は55で精神病床数はやや多い。

*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は61で診療所数は多い。

【介護施設や在宅ケアの現状】

*介護施設の現状： 萩の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、914人(75歳以上1000人当たりの偏差値36)と全国平均レベルを下回る。そのうち、介護保険施設の定員が730床(偏差値51)、高齢者住宅等が184床(偏差値33)である。介護保険施設は全国平均レベルであるが、高齢者住宅等は全国平均レベルを大きく下回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、850人(75歳以上1000人当たりの偏差値48)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルである。

施設別の75歳以上1000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設25、特別養護老人ホーム59、介護療養型医療施設70、有料老人ホームなし(偏差値37)、軽費ホーム64、グループホーム43、サ高住35である。

*在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値39と少なく、在宅療養支援病院は存在しない。また、訪問看護ステーションは偏差値40と少ない。介護職員(在宅)の合計は、73人(75歳以上1000人当たりの偏差値37)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを下回る。

*介護の2025年の需要予測： 2025年の介護充足度指数⁴は-17%であり、2025年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、高齢者施設・住宅の増設、あるいは相当する在宅のインフラ整備が必要である。

(萩医療圏) 2. 推移と将来推計

【人口と医療需要】

萩医療圏の総人口は、2005年62091人が、2015年に53023人と15%減少し、2025年の人口が43862人と予測され、2005年→2025年の間に29%程度の減少が予測されている。

医療の需要(医療費ベース)は、2005年から2015年に3%減少し、2015年から2025年にかけて8%程度の減少が予測される。

【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

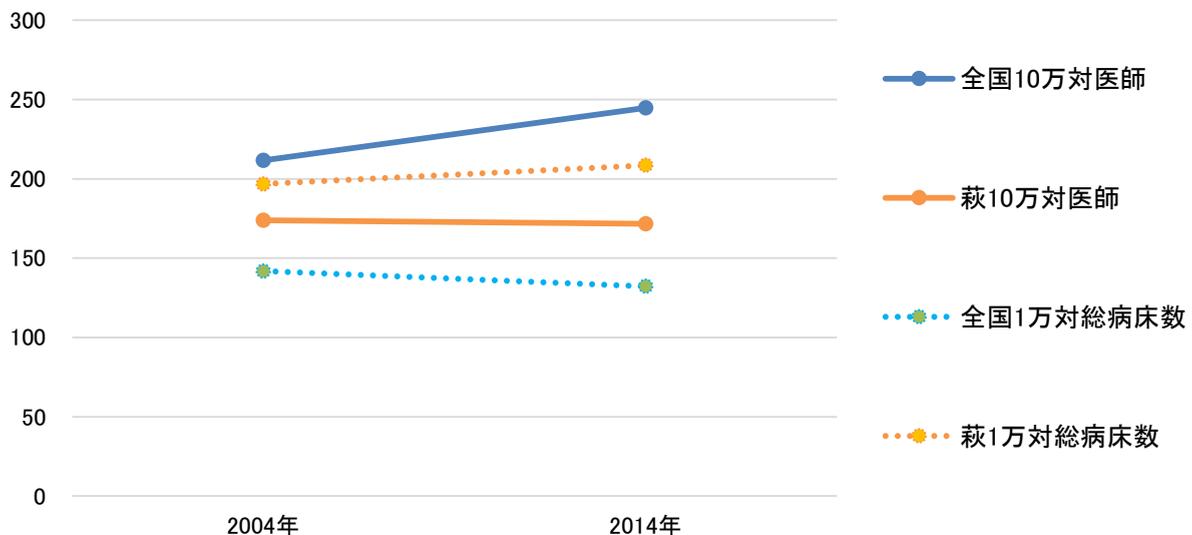
2004年の病院数が7(人口10万人当たり11.3病院(全国平均7.1)偏差値61)であったが、2014年に7(人口10万人当たり13.2病院(全国平均6.7)偏差値66)となり、10年間で増減がなかった。

2004年の診療所数が59(人口10万人当たり95診療所(全国平均76)偏差値60)であったが、2014年に54(人口10万人当たり102診療所(全国平均79)偏差値62)と、5診療所が減少した。

2004年の総病床数が1222床(人口1万人当たり197(全国平均142)偏差値60)であったが、2014年に1106床(人口1万人当たり209(全国平均132)偏差値64)と、116床の減少、率にして9%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。

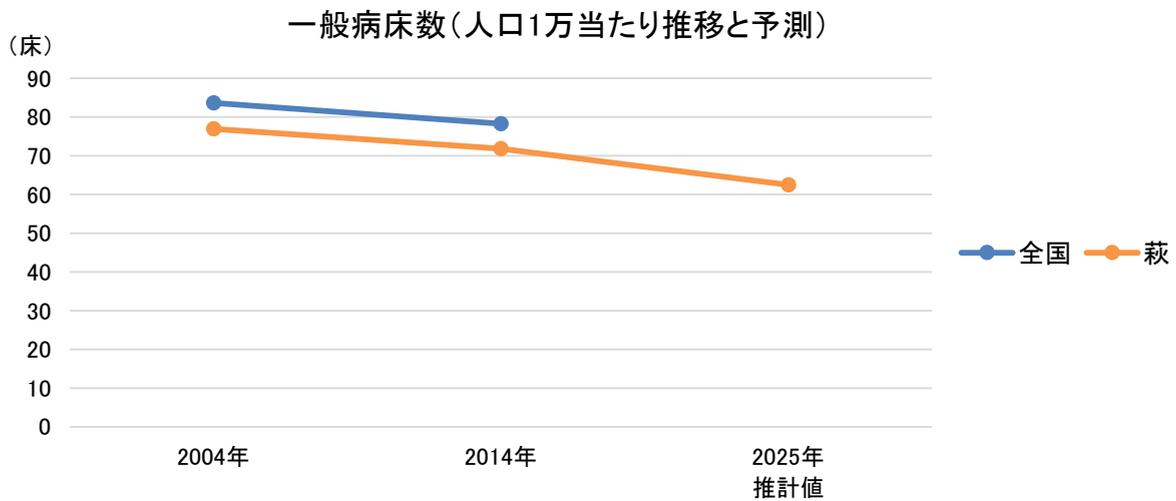
2004年には病院と診療所合わせての総医師数³が108人(人口10万人当たり174人(全国平均212人)偏差値46)であったが、2014年に91人(人口10万人当たり172人(全国平均245人)偏差値42)と、17人の減少、率にして16%の減少(全国平均15%の増加)が見られた。

2004→2014年 人口当たり医師数・病床数



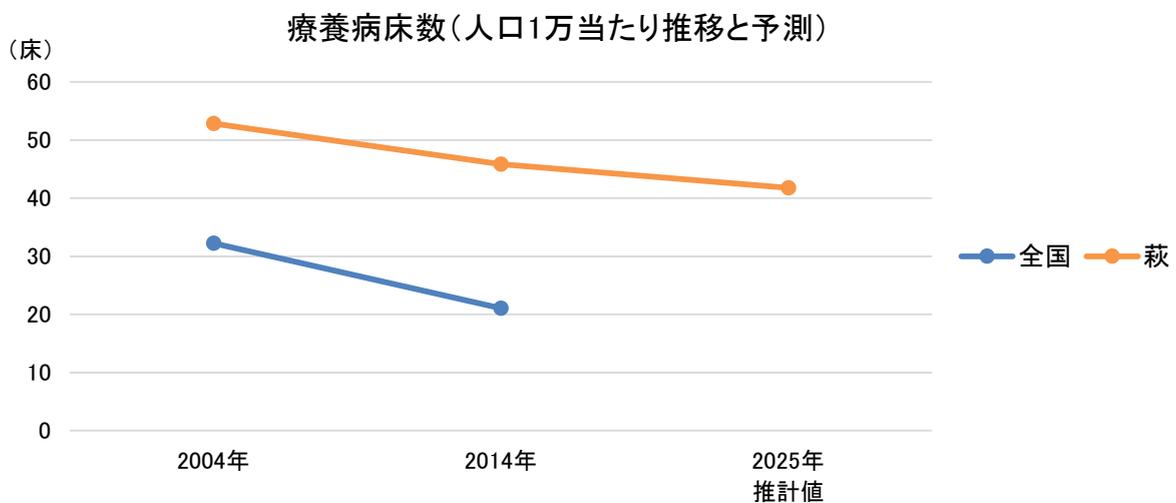
【一般病床の推移と今後の予測】

2004年の一般病床(病院+診療所)が478床(人口1万人当たり77(全国平均84)偏差値48)であったが、2014年に381床(人口1万人当たり72(全国平均78)偏差値48)と、97床の減少、率にして20%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には274床(2025年の推計人口1万人当たり62)になることが予想される。



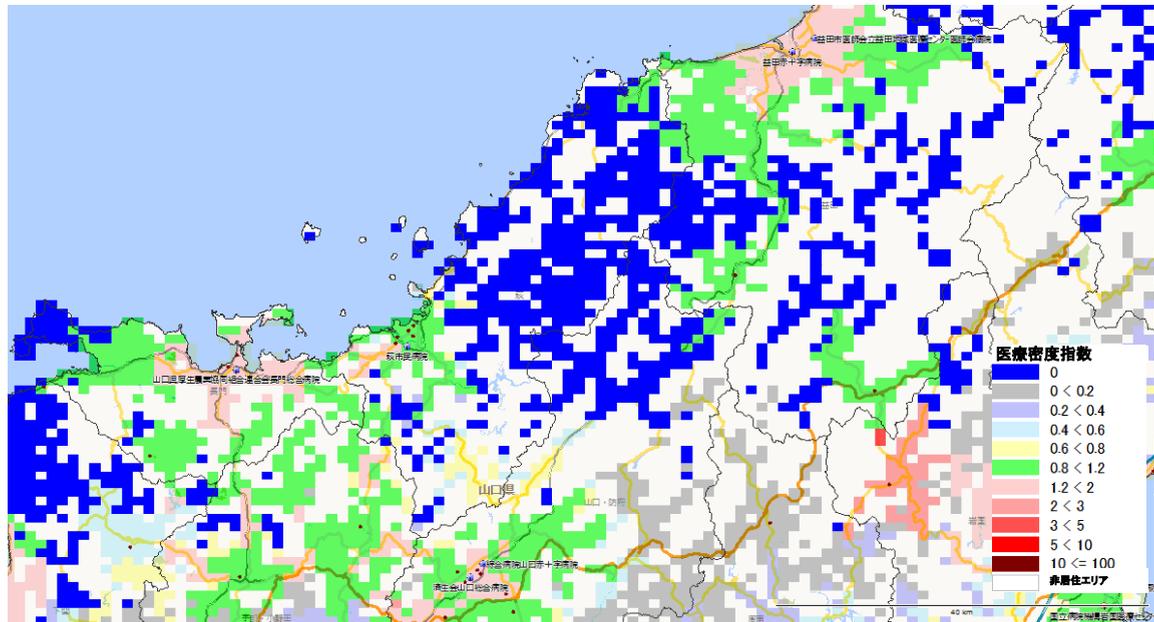
【療養病床の推移と今後の予測】

2004年の療養病床(病院+診療所)が532床(75歳以上1000人当たり53(全国平均32)偏差値62)であったが、2014年に528床(75歳以上1000人当たり46(全国平均21)偏差値71)と、4床の減少、率にして1%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には524床(2025年の推計75歳以上1000人当たり42)になることが予想される。



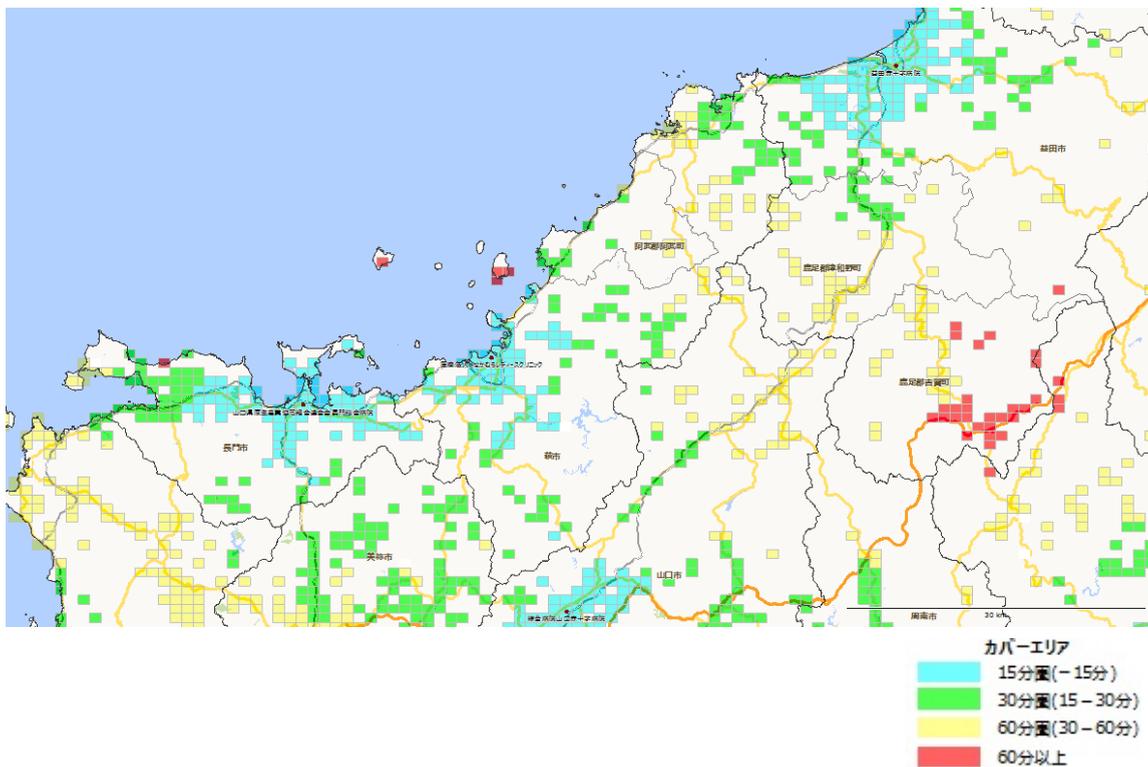
(萩医療圏) 3. 医療密度⁵・周産期カバーエリア

図表35-8-1 急性期医療密度指数マップ



図表35-8-2 分娩医療機関への所用運転時間(カバーエリア)

※各メッシュから分娩医療機関への所用運転時間の推計値を掲載した。(集計方法は補論参照のこと)



注

¹1km²区画(1km²メッシュ)で分割した各区画内の居住人口。赤色系統は人口が多く(10,000人/km²以上)、黄色系統は中間レベル(1,000~10,000人/km²)、青色系統は人口が少ない(1,000人/km²未満)。白色は非居住地。
出所:国勢調査(平成22年、総務省)地図情報GIS MarketAnalyzer ver.3.7 地図 PAREAシリーズ

²その地域の住民が、どの程度の医療(急性期及び慢性期)を利用できるかの目安を示す指標。1.0が全国平均。0.8を下回ると少ない、0.6を下回ると非常に少ない、1.2以上充実、1.5以上非常に充実。

³【医療の現状】で使用した総医師数は、病院医師数(平成27年病院報告(厚生労働省 平成27年10月))と診療所医師数(平成26年医療施設調査(厚生労働省 平成26年10月))の合計。

【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】で使用した2014年の総医師数は、平成26年医師・歯科医師・薬剤師調査(厚生労働省 平成26年12月)に基づく病院医師数と診療所医師数の合計。

⁴高齢者住宅・施設の各地域の受入れ充足度を示す指標。2025年の75歳以上推定人口から算出した高齢者住宅・施設の目標ベッド数が2016年ベッド数と比べて何%多いか少ないかを示す。集計対象は、介護三施設、軽費老人ホーム、グループホーム、有料老人ホーム、サービス付き高齢者賃貸住宅等である。

⁵急性期医療密度の定義、算出方法については序章を参照。

⁶日医総研WP no.375「地域の医療提供体制の現状 -都道府県別・二次医療圏別データ集(2016年度版)を更新。ウェルネス・二次医療圏データベースシステム使用。

⁷医療費は市町村国民健康保険のみ。複数の二次医療圏をもつ横浜市および川崎市は同じデータを記載している。

「入院」は、入院診療及び食事療養・生活療養の計である。

「入院外+調剤」は、入院外診療及び調剤の支給の計である。

複数医療圏にまたがる広域連合の介護費については、構成市町村の医療圏毎の75歳以上人口比で案分した上で、二次医療圏単位で集計している。

⁸医療需要は(0~64歳人口)+(65~74歳人口)×3.1+(75歳以上人口)×5.0で算出。

⁹日本医師会JMAP(地域医療情報システム)で地域別の人口動態、医療機関、介護施設の情報を参照可能
<http://jmap.jp/> ネットで閲覧の場合、地域名をクリックするとリンク先に移動します。